

Canon

**POWER
PROJECTOR** **LV-7290**
LV-7295
LV-7390
LV-8225

使用説明書



PJLink™

ご使用前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

LV-7290/7295/7390/8225 の特長

LV-7290/7295/7390

1024x768ドットの高解像度液晶パネル採用。

XGA画像をリアル表示

WXGA, SXGA, UXGA, WUXGAを圧縮表示(アナログ)

LV-8225

1280x800ドットの高解像度液晶パネル採用。

WXGA画像をリアル表示

SXGA, UXGA, WUXGAを圧縮表示(アナログ)

小型・軽量・コンパクトデザイン

使用後すぐに持ち運びができる、ダイレクトオフ

機能

- ご使用後にリモコンや操作パネルのボタンを押さずに、電源コードを抜いたり、プレーカーを落として電源を切ることができます。

オートセットボタン

- ボタン1つでオートインプット（入力信号の有無を検知して投写）、PC調整、キーストーン（上下）のセットアップができます。

キャプチャー機能で好きな画像を取り込み、オリジナルの起動画面を作ることが可能

暗証番号を登録してセキュリティ強化

- 「ロゴ暗証番号ロック」と「暗証番号ロック」機能で、第三者の不正使用や誤作動を防ぐことができます。

電力の節約を助ける、パワーマネジメントモード

さまざまな設置方法に対応

- 天吊り
- 据置
- リア投射

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- コンピューターの信号の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャンシステム」と「オートPC」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投写できる「デジタルズーム」機能。（コンピューターモード時）
- 投写画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン（台形補正）」機能。
- 画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- 画面を一時的に消す「BLANK」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER（プレゼンテーションタイマー）」機能。
- 「アンプ・スピーカー」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。
- 音声を一時的に消す「MUTE」機能。
- 「黒（緑）板」「カラーボード」モードでスクリーンがなくても黒（緑）板や色のついた壁などに投写して通常のスクリーンに投写したときの色合いを再現。




長寿命フィルター搭載

- 目の粗さが異なる3層構造のフィルターを搭載しました。これにより、約5500時間*（エコモード時）フィルターの交換が不要です。
*時間は目安であり、ご使用の環境により交換時期は異なります。

有線LAN機能

- ネットワーク経由でプロジェクターの操作・管理が可能。

～本説明書中の記号について～

	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン]名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。例：[OK]ボタン、[COMPUTER IN 1]端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。例：「入力」、「設定」

* 本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

安全にお使いいただくために - 4	各種機能の設定 ----- 66
正しくお使いいただくために 10	「設定」メニューで
準備 ----- 15	各種機能の設定をする 66
付属品を確認してください 15	保守とお手入れ ----- 87
本体各部の名称 16	ランプの交換 87
機器をつなぐ端子 17	お手入れについて 89
操作パネルとインジケータ 18	内部温度の上昇について 92
リモコンのボタン 19	インジケータ表示と
設置・接続 ----- 23	プロジェクターの状態 93
設置のしかた 23	故障かなと思ったら 95
接続の例 ～コンピューター 25	付録 ----- 99
接続の例 ～ビデオ1 26	コンピューター
接続の例 ～ビデオ2 27	システムモード一覧 99
電源コードを接続する 28	メニュー内容一覧 102
基本操作 ----- 30	仕様 106
電源を入れる・切る 30	(別売品 108)
入力信号を選択する 36	保証とアフターサービス --- 115
投写画面の調整や	
その他の操作 37	
オンスクリーンメニューの	
操作方法 41	
入力の選択・設定・調整 --- 45	
入力を切り換える 45	
コンピューターシステムの選択 47	
ビデオシステムの選択 48	
コンピューターシステムの調整 49	
画質の調整 53	
画面サイズの調整 57	
音声の調整 64	

はじめに

準備

接続
設置

基本
操作本

設定
力
の
調整
選択
・

各種
機能
の
設定

保守
と
入
れ

付
録

保
証
と
ア
フ
タ
ー
サ
ー
ビ
ス

安全にお使いいただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。	
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。	
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。	
 分解禁止	 接触禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
 水ぬれ禁止	 ぬれ手禁止	
 禁止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。	
 アース線を 接続する	 電源プラグを コンセントから 抜け	これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。図の中に具体的な指示内容が描かれています。
 注意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示しています。	

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

警告

以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。



電源プラグを
コンセントから
抜け



感電注意

- ・煙が出ている
- ・変なにおいや音がする
- ・大きな音がしてランプが消えた
- ・水など液体が本機に入った
- ・金属類や異物が本機に入った
- ・本機を倒したり、落としたりしキャビネットを破損した

警告

電源コードの取り扱いについて以下の点に注意してください。火災や感電、けがの原因になります。



禁止



感電注意

- ・電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。コードが破損します。
- ・電源コードを敷物で覆うと、それに気づかず重い物を載せてしまうことがあります。
- ・電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ・電源コードを熱器具に近づけたり加熱しないでください。
- ・電源コードを細かく曲げたり、巻いたり、束ねたりしたまま使用しないでください。
- ・破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は新たに電源コードを販売店から購入してください。
- ・付属している電源コード以外は使わないでください。



アース線を
接続する



感電注意

- ・電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。
- ・アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点に注意してください。
火災や感電、けがの原因になります。



禁止



感電注意

- ・表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。
- ・電源プラグやコネクタを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクタを持って抜いてください。コードが傷つきます。
- ・電源プラグやコネクタの接点部に金属類を差し込まないでください。



注意



感電注意

- ・電源プラグやコネクタは、根元まで確実に差し込んでください。また、痛んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- ・コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。



電源プラグを
コンセントから
抜け



感電注意

- ・お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。



ぬれ手禁止



感電注意

- ・ぬれた手で電源プラグやコネクタを抜き差ししないでください。



注意

- ・電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。

設置のときのご注意

警告

本機の設置および取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。火災や感電、けがの原因になります。



水ぬれ禁止



感電注意

- ・風呂、シャワー室では使用しないでください。
- ・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用しないでください。
- ・本機の上に液体の入った容器を置かないでください
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。



接触禁止



感電注意

- ・雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。



電源プラグを
コンセントから
抜く



感電注意

- ・本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。



禁止



分解禁止

- ・キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があり、感電ややけどの原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- ・本機（消耗品を含む）、リモコンの改造や分解をしないでください。



禁止

- ・吸気口や排気口の穴から物などを差し込まないでください。
- ・投写中に本機の前で発表する場合は、スクリーンに発表者の影が映らない位置など、まぶしさを感じない位置で行ってください。
- ・排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。

リモコンの電池についての安全上のご注意

⚠ 警告

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因になります。



禁止

- ・電池を火の中に入れてたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- ・電池は充電しないでください。



注意

- ・電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- ・電池を交換するときは2本いっしょに交換してください。また、種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。
- ・+と-の向きを正しく入れてください。
- ・万一、液漏れなどで電池内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠ 注意

設置および取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。



電源プラグを
コンセントから
抜け

- ・長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



接触禁止



禁止

- ・動作中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。やけどの原因になりますので手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となることがあります。



禁止

- ・本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ・動作中にレンズキャップを着けたり、レンズの前に物を置かないでください。火災の原因になることがあります。
- ・本機のレンズ・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因になることがあります。



注意

- ・長年のご使用で内部にホコリがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。
- ・天井取り付け（天吊り）などの設置工事は、専門の技術者または販売店に依頼してください。工事の不備があると、事故の原因となることがあります。

警告

ランプ交換およびランプが破損したときは、以下の点に注意してください。感電やけがの原因になります。



電源プラグを
コンセントから
抜け



感電注意

- ・ランプの交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

- ・ランプが破損した場合は本機内部にガラス片が散乱している可能性があります。販売店へ本機内部の清掃と点検、ランプの交換を依頼してください。

注意

ランプの取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。



禁止

- ・使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。必ず電源を切って1時間以上が経過して、ランプが十分冷えるまでお待ちください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。



注意

- ・ランプ交換の指示が出た（「LAMP REPLACE」インジケータが点灯した）場合、交換時期を越えて使用し続けるとランプが破裂する可能性が高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。
- ・ランプが破損した場合、ランプ内部のガス（水銀を含有）や粉じんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。万一、ランプから生じるガスを吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。
- ・使用済み水銀ランプを捨てるときは、蛍光灯と同じ取り扱いで各自治体の条例に従って廃棄してください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。

持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ調整脚を収納してから、別売のソフトキャリングケースに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用のケースをご使用ください。輸送用のケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

別売のソフトキャリングケースの品番：LV-SC01

液晶パネルについて

液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面を変えたときに残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。投写する映像を変えたり、電源を切っておくと回復します。

レンズに向けて強い光を照射しないでください

レーザー光線などの強い光を直接レンズに照射されますと、製品性能に影響を与えおそれがありますので、ご注意ください。

● 電波障害自主規制について ●

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

設置するときは次のことに注意してください

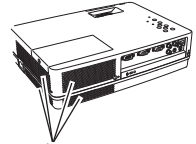
● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・観葉植物やペットを置かないでください。
- ・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・排気口付近には視聴席を設けないでください。



注意



排気口



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。とくに小さいお子さまにはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲

5°C～35°C

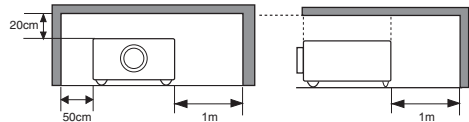
保管温度範囲

-10°C～60°C

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。

(上方 20cm 以上、側面 50cm 以上、排気口・後面各 1m 以上)



● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

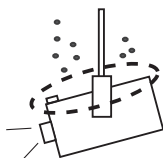
エアフィルターのお手入れ

吸気口のエアフィルターはプロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。エアフィルターは掃除ができませんが、吸気口周辺は定期的に掃除することをおすすめします。

天井から吊り下げてご使用になるときに



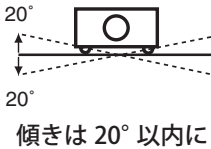
天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取り除いてください。



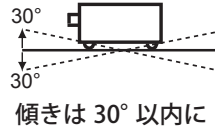
正しい方向に設置してください

プロジェクターを安全にご使用頂くため、プロジェクターはかならず指定の方向でご使用ください。指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を縮めるだけでなく、故障や火災、事故の原因となります。

天井から吊り下げて設置するときは、落下しないようにしっかりと固定してください。設置については、お買い上げの販売店にご相談ください。



左右への傾きは各 20 度以内としてください。



前後の傾きは各 30 度以内としてください。



上向きに設置して投写しないでください。



下向きに設置して投写しないでください。



横に立てて設置して投写しないでください。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプは次のような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

注意 ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行なってください。万一口吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従って行ってください。

準備

付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

準備

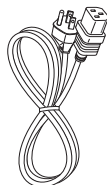
1 リモコン(MXCP)



2 リモコン用乾電池
(単4形 2本)



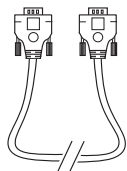
3 電源コード



4 電源プラグアダプタ



5 コンピュータケーブル
(D-sub 用)



6 使用説明書
(本書+別冊1冊)



7 保証書



8 フェライトコア



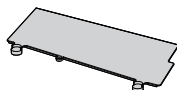
9 レンズキャップ



10 レンズキャップ用ひも



11 フィルターカバー



12 PIN コードラベル*

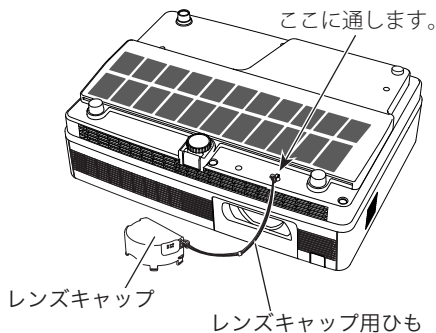


* 暗証番号を登録し、プロジェクターをロックしたとき、プロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロジェクターがロックされていることを表示するのにご使用ください。☞ 111 ページ

＜レンズキャップを取り付ける＞

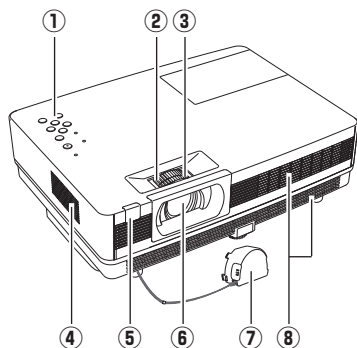
本機を動かすときや長時間お使いにならないときはレンズキャップをはめてください。

- 1 レンズキャップの穴にひもを通します。
- 2 本機を裏返します。
- 3 本機底部の通し穴にレンズキャップのひもを通します。

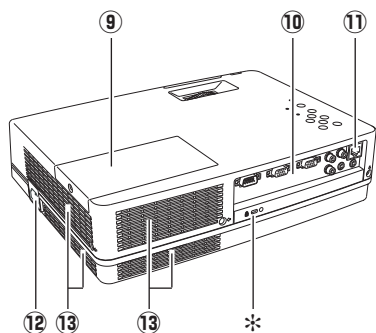


本体各部の名称

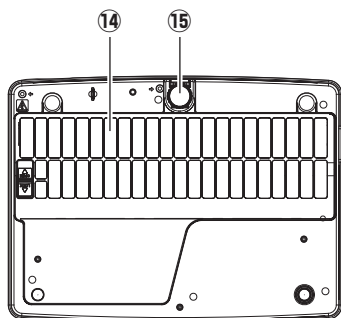
前面



後面



底面



注意 ご使用中、天面は熱くなります。
上に物を置いたりしないでください。
変形や火災の原因となります。

- ① 操作パネル・インジケータ
- ② ズームリング
- ③ フォーカスリング
- ④ スピーカ
- ⑤ リモコン受光部
- ⑥ レンズ
- ⑦ レンズキャップ ※1
- ⑧ 吸気口 ※2
- ⑨ ランプカバー
- ⑩ 後面端子
- ⑪ LAN 端子
- ⑫ 電源コード接続ソケット
- ⑬ 排気口 ※3
- ⑭ エアフィルタ
- ⑮ 調整脚

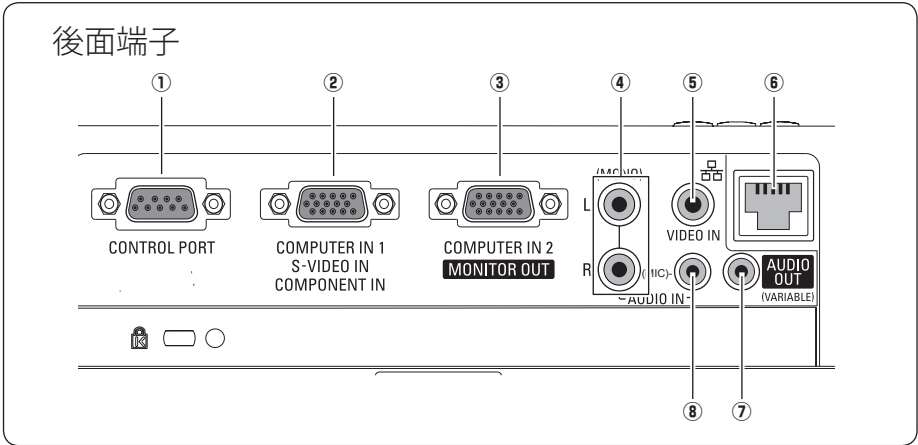
* 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。

※1 **注意** ランプ点灯中はレンズキャップを
かならずはずしてください。レン
ズキャップをつけたまま点灯する
と、レンズキャップの変形および
火災の原因となることがあります。

※2 **注意** 内部に冷却ファンがあります。
ここをふさがないでください。
火災の原因となることがあります。

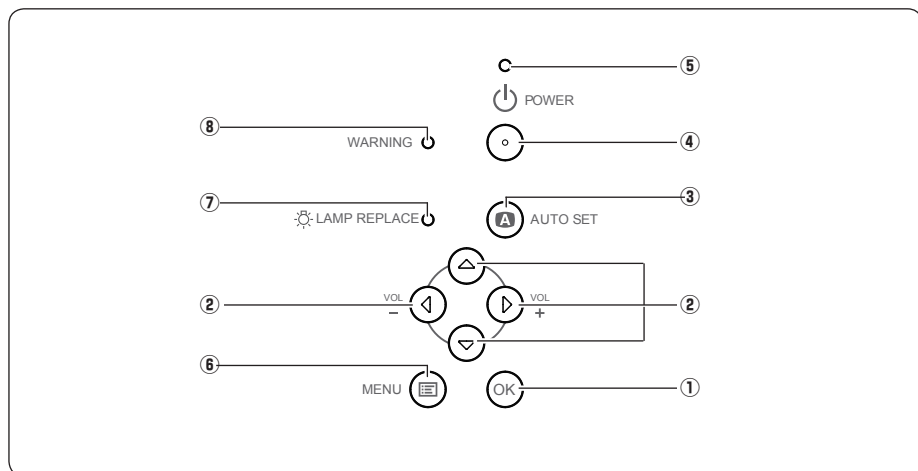
※3 **警告** スプレーなど、引火性のもの、
燃えやすいもの、熱で変形しや
すいものを近くに置かないでく
ださい。火事の原因となります。









機器をつなぐ端子



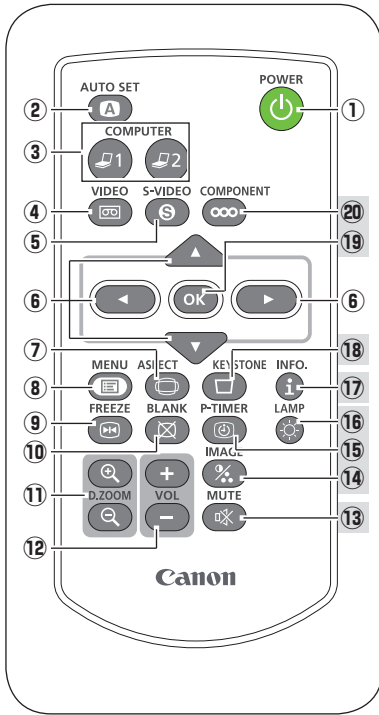
<p>① CONTROL PORT コンピューターからシリアルデータでプロジェクターを操作するとき 사용합니다。</p>	<p>④ AUDIO IN (L/R 端子) ㉞ 25、26 ページ ㉞ に接続された、ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は [L (mono)] 端子へ接続してください。AUDIO IN (PC/MIC 端子) をマイク入力として使用する場合は、PC 音声入力用に使用することが可能です。</p>
<p>② COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN / COMPONENT IN (コンピューター / S 映像 / コンポーネント入力端子) ㉞ 25 ~ 27 ページ コンピューターからの信号、ビデオ機器からのコンポーネント信号を入力します。接続にはコンピューターケーブル (D-sub 用) D-sub / コンポーネントケーブル、D-sub / S ビデオケーブル、を使用します。 ※ 市販の長いコンピューターケーブルを使うときは、この端子に接続してください。</p>	<p>⑤ VIDEO IN (ビデオ入力端子) ㉞ 26 ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。</p>
<p>③ COMPUTER IN 2/MONITOR OUT (コンピューター入力 / モニター出力端子) ㉞ 25 ページ コンピューターからのアナログ信号を入力します。 また、コンピューターのモニター出力として切り換えて使用することができます。接続にはコンピューターケーブル (D-sub 用) を使用します。</p>	<p>⑥ LAN 接続端子 ㉞ 110 ページ 有線 LAN ケーブルを接続します。別冊「ネットワーク説明書」を参照してください。</p>
	<p>⑦ AUDIO OUT (音声出力端子) (可変) ㉞ 25 ~ 27 ページ 投写中のコンピューターまたはビデオ画面の音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子です。 この端子をヘッドホン端子として使用しないでください。</p>
	<p>⑧ AUDIO IN (PC/MIC 端子) ㉞ 25 ~ 27 ページ ㉞、㉞ に接続されたコンピューターやビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。または、マイクを接続します。</p>

操作パネルとインジケータ



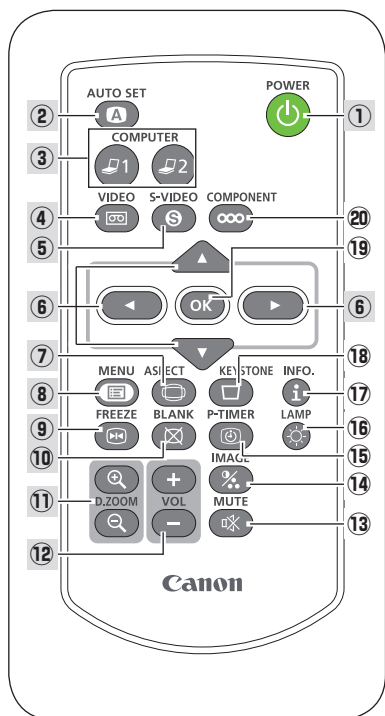
<p>① オーケー OK ボタン  41 ページ ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。</p>	<p>⑤ POWER インジケータ  92～94 ページ プロジェクターの状態を示します。 点灯 (赤) : 電源を入れる準備ができました。 点滅 (赤) : ランプの冷却中です。 点灯 (緑) : プロジェクターは動作中です。 点滅 (緑) : パワーマネジメントモードが働いています。</p>
<p>② ポイント / ボリューム ボタン  41 ページ オンスクリーンメニューでのポインタの移動や各種メニューの調整、音量の調整に使用します。また、デジタルズームモードあるいはリアルモードで画像を上下左右に移動するのに使用します。</p>	<p>⑥ メニュー MENU ボタン  41 ページ オンスクリーンメニューを表示します。</p>
<p>③ オートセット AUTO SET ボタン  37 ページ 「設定」メニューの「オートセットアップ」で設定した「オートインプット、オートPC (PC入力時のみ)、オートキーストーン」機能を自動調整します。</p>	<p>⑦ ランプリプレイス LAMP REPLACE インジケータ  87、93、94 ページ ランプの交換時期を知らせます。</p>
<p>④ POWER ボタン  30、34 ページ 電源を入り・切ります。</p>	<p>⑧ ワーニング WARNING インジケータ  92～94 ページ 赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。また、プロジェクターの内部の異常を検知したとき赤く点灯します。</p>

リモコンのボタン



- ① **POWER ボタン** (電源ボタン)
電源を入り・切ります。
- ② **AUTO SET ボタン**
「設定」メニューの「オートセットアップ」で設定した「オートインプット、オートPC (PC入力時のみ)、オートキーストーン」機能を自動調整します。
- ③ **COMPUTER 1/2 ボタン**
入力をコンピューター1 (または2) に切り換えます。
- ④ **VIDEO ボタン**
入力をビデオに切り換えます。
- ⑤ **S-VIDEO ボタン**
入力をSビデオに切り換えます。
- ⑥ **POINT ボタン**
オンスクリーンメニューでのポイントの移動やメニューの調整に使用します。また、デジタルズームモードあるいはリアルモードで画像を上下左右に移動するのに使用します。
- ⑦ **ASPECT ボタン**
画面サイズを選択します。
- ⑧ **MENU ボタン**
オンスクリーンメニューを表示します。
- ⑨ **FREEZE ボタン**
画面を一時的に静止させます。
- ⑩ **BLANK ボタン**
画面を一時的に消します。
- ⑪ **D.ZOOM+/- ボタン**
デジタルズームの操作に使用します。
- ⑫ **VOLUME+/- ボタン**
音量の調整に使用します。

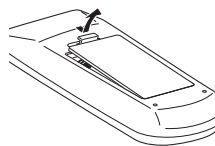
⑬以降は次ページへ



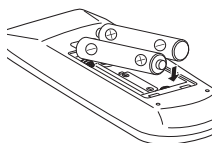
- ⑬ **MUTE** ボタン  64 ページ
音声を一時的に消します。
- ⑭ **イメージ**
IMAGE ボタン  38 ページ
画質モードを選択します。
- ⑮ **ピータイマー**
P-TIMER ボタン  40 ページ
このボタンを押してから経過した時間を表示させます。
- ⑯ **ランプ**
LAMP ボタン  39 ページ
ランプモードを選択します。
- ⑰ **インフォ**
INFO. ボタン  44 ページ
投写中の信号状況や設定の状況を表示します。
- ⑱ **キーストーン**
KEYSTONE ボタン  38 ページ
画面の台形ひずみ（あおり）を補正します。
- ⑲ **オーケー**
OK ボタン  41 ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。
- ⑳ **コンポーネント**
COMPONENT ボタン  36 ページ
入力をコンポーネントに切り換えます。

電池の入れかた

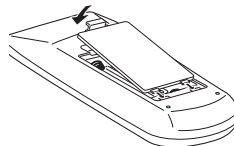
- 1 電池カバーを開けます。 2 電池を入れます。 3 電池カバーを閉めます。



ツメの部分を押し、引き上げます。



＋プラス、－マイナスに注意して付属の乾電池（単4形乾電池2本）を入れます。



カチッと音がするまでしっかり閉じます。

準備

!! 電池を使用するときのご注意



警告



禁止

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。火災やけがの原因となります。

- 種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- 乾電池は充電しない。分解しない。
- ＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
- 可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- 電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

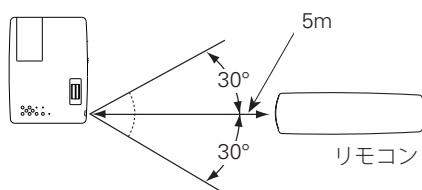
また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- 長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面のリモコン受光部から約 5m 以内、上下左右 30 度以内です。

※間に障害物があると操作の妨げになります。



⚠️ リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

リモコンコードの設定

本機は 2 種類のリモコンコードの設定が可能です。2 台のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他のコードに変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。

たとえば、本機（プロジェクター）を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体のコードも「コード 2」に切り換える必要があります。（[P.78](#) ページ）

リモコンコードの切り換え方

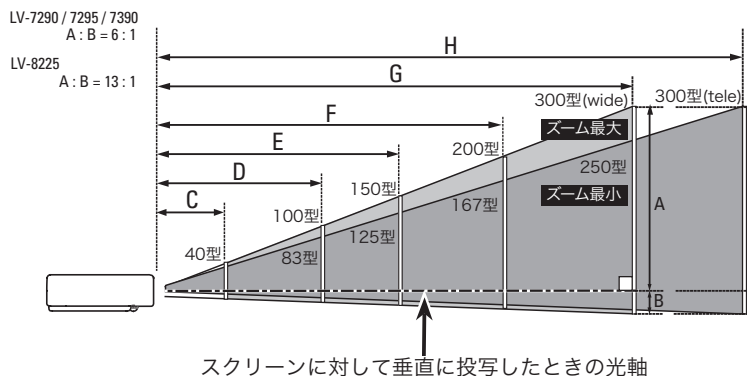
リモコンの [MENU] と [IMAGE] ボタンの両方を同時に 5 秒以上押しと、リモコン本体のコードが「コード 2」に切り換わります。リモコン本体のコードを切り換えた後は、リモコンが正しく動作するか確認してください。また、長期間電池を入れていると、リモコン本体のコードが「コード 1」に戻ります。

設置・接続

設置のしかた

スクリーンからのおよその投写距離と画面サイズの関係

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。



LV-7290/7295

画面サイズ (幅×高さ:mm)	40型	100型	150型	200型	300型
	813×610	2032×1524	3048×2286	4064×3048	6096×4572
投写距離(ズーム最大:wide)	C: 1.30m	D: 3.26m	E: 4.90m	F: 6.55m	G: 9.84m
投写距離(ズーム最小:tele)	1.55m	3.92m	5.90m	7.87m	H: 11.80m

※ 上表はアスペクト比 4 : 3 の画面サイズで投写画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。☞ 99～101 ページ

LV-7390

画面サイズ (幅×高さ:mm)	40型	100型	150型	200型	300型
	813×610	2032×1524	3048×2286	4064×3048	6096×4572
投写距離(ズーム最大:wide)	C: 1.1m	D: 2.9m	E: 4.4m	F: 5.8m	G: 8.7m
投写距離(ズーム最小:tele)	1.4m	3.5m	5.2m	7.0m	H: 10.5m

※ 上表はアスペクト比 4 : 3 の画面サイズで投写画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。☞ 99～101 ページ

LV-8225

画面サイズ (幅×高さ:mm)	40型	100型	150型	200型	300型
	862×538	2154×1346	3231×2019	4308×2692	6462×4039
投写距離(ズーム最大:wide)	C: 1.2m	D: 3.1m	E: 4.6m	F: 6.2m	G: 9.3m
投写距離(ズーム最小:tele)	1.5m	3.7m	5.5m	7.4m	H: 11.1m

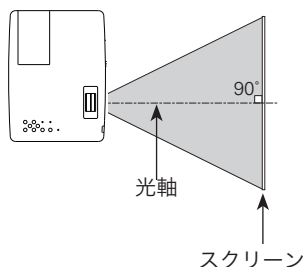
※ 上表はアスペクト比 16 : 10 の画面サイズで投写画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。☞ 99～101 ページ

スクリーンに対して直角に設置する

投写したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

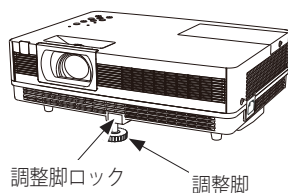
※ スクリーンに対して過度に斜めに投写すると、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。

上から見た図



投写画面の高さと傾きを調整する

- 1 本体前方を持ち上げてから、調整脚ロックを指で押して調整脚を伸ばし、指を離して調整脚をロックします。
- 2 調整脚をまわして投写画面の高さと傾きを微調整します。最大約 10 度まで上がります。



※ 持ち運ぶときはかならず調整脚を収納してください。

左右方向の傾きは± 20 度以内に

左右の傾きが± 20 度以内になるように投写してください。傾きが大きいと、ランプの故障の原因となります。

画面の台形ひずみ（あおり）

調整脚を上げすぎると、投写角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。☞ 38 ページ

お使いになる部屋の明るさについて

スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落としてください。

接続の例 ～コンピューター～

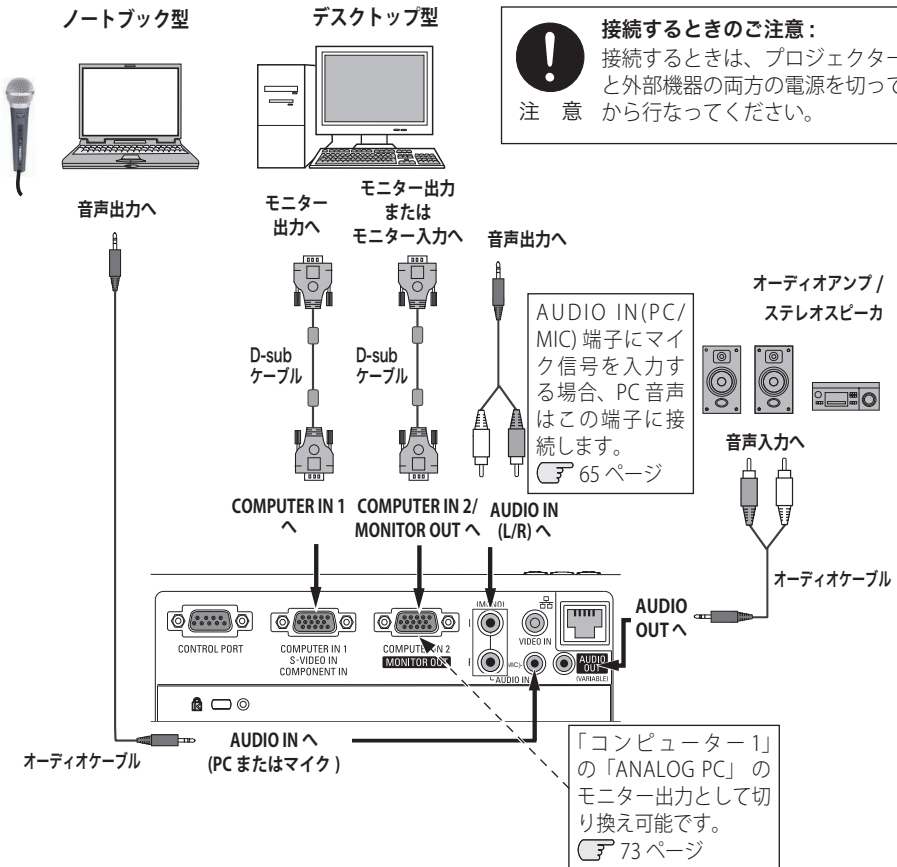
接
続
置

接続に使用するケーブル (* = 市販のケーブルをお使いください。)

- D-sub ケーブル
- オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ*)

コンピューターの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの [Fn] キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。



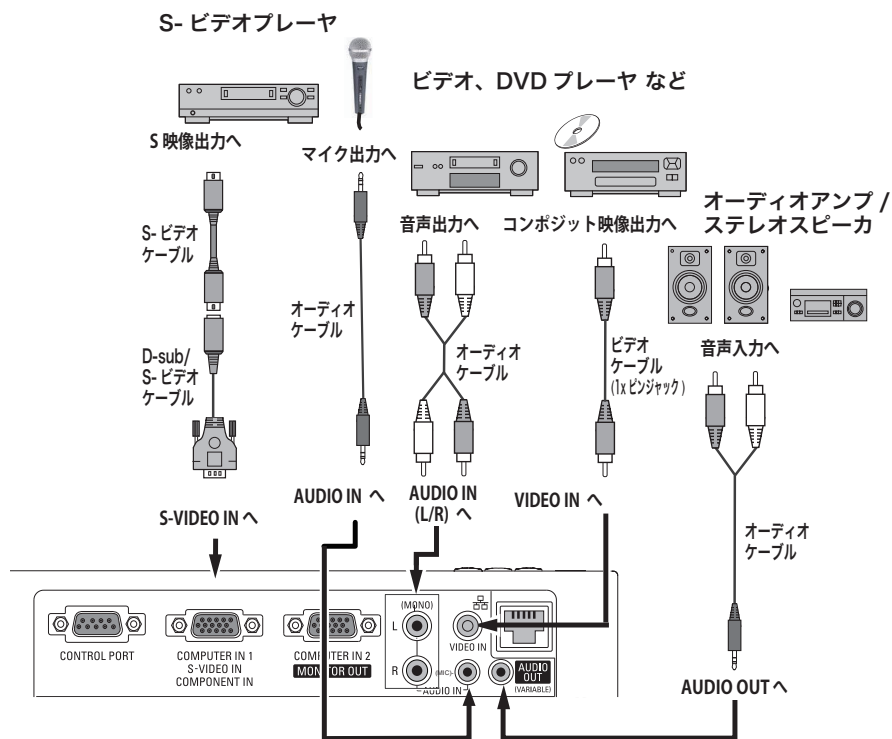
※ 内蔵スピーカからは、接続した機器やマイクの音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか、確認してください。

接続の例 ～ビデオ 1

接続に使用するケーブル

- ビデオ ケーブル (1x ピンジャック)
- S ビデオ ケーブル (D-sub/S ビデオ)
- オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック)

※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。(D-sub/S ビデオケーブルは別売があります。☞ 108 ページ)



接続するときのご注意：

接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

※ 内蔵スピーカからは、接続した機器やマイクの音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグがささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか、確認してください。

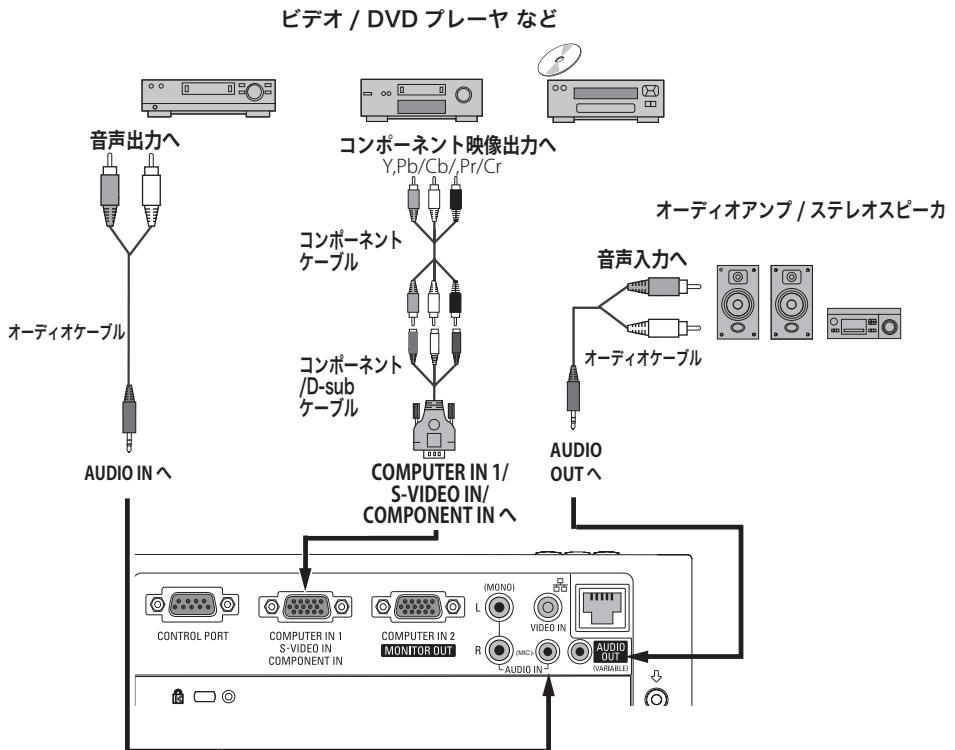
接続の例 ～ビデオ 2

接
設
続
置
・

接続に使用するケーブル

- ビデオ ケーブル (コンポーネント、D-sub/ コンポーネント)
- オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック)

※ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。(D-sub/コンポーネントケーブルは別売がありますが、3ピン部分の形状はメスになっています。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。☞ 108 ページ)



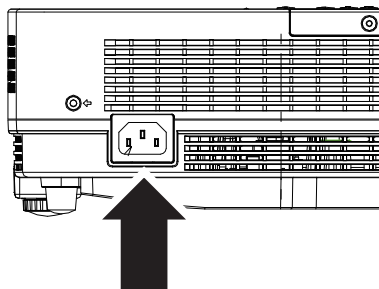
! **接続するときのご注意:**
 接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。
注 意

※ 内蔵スピーカーからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグがささっていると、内蔵スピーカーから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか、確認してください。

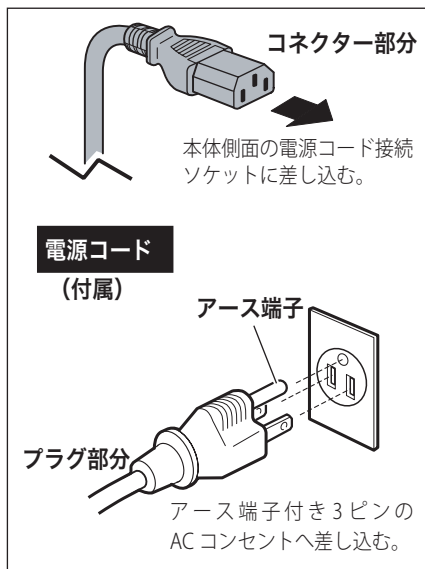
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、17、25～27 ページを参照してコンピューターやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのコネクター部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3 ピンの AC コンセントに差し込みます。

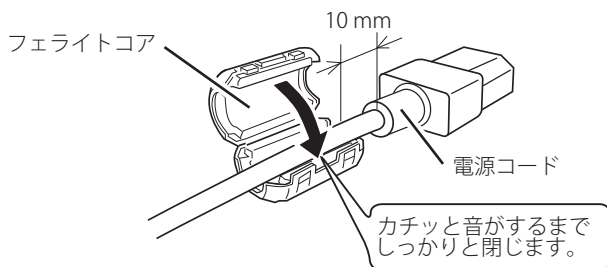


フェライトコアのご使用について

ご使用前に、電源コードにフェライトコア（付属）を取り付けてください。

（取付位置は下図を参照してください）

他の機器への受信妨害を抑えるため、かならずフェライトコアを付けてご使用ください。





警告

電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。



ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、リモコンや操作パネルの [⏻ POWER] ボタンで電源を切っても待機電力*が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグを AC コンセントから抜いてください。

* 待機中消費電力：0.4W/6.6W（スタンバイモード：エコ/ネットワーク）

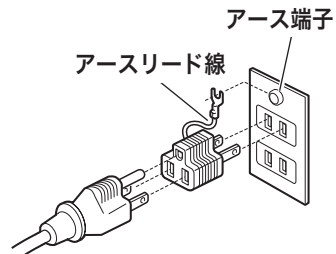


警告

電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください。 感電の原因になります。

電源コードのプラグはアース端子付き 3 ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが 2 ピン専用（アース端子がない）場合は、アース工事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピューター使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事はかならず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタを使うときは、安全のため、コンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接地してください。また、はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いたあとでアースリード線ははずしてください。



基本操作

電源を入れる・切る

電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、17、25～27ページを参照してコンピューターやビデオ機器を接続してください。

1 電源コードを AC コンセントに接続します。(☞ 28ページ [POWER] インジケータ (赤) が点灯します。

2 リモコンまたは操作パネルの [POWER] ボタンを押して電源を入れます。*
[POWER] インジケータが赤から緑の点灯にかわります。
約 30 秒間のオープニング画面とそのカウントダウン**が終わると画像が投写されます。
スタート時画面左上に「ランプモード」(☞ 78ページ)、入力モード、オートインプット❖が約 4 秒間表示されます。

このとき、「設定」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」(☞ 79ページ)を「オン」にしているときは、暗証番号を入力します。

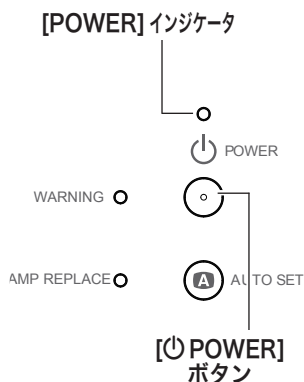
※ 暗証番号の入力方法は 33 ページを参照してください。

また、入力信号が見つからないときは、次ページのガイダンスが表示されます。

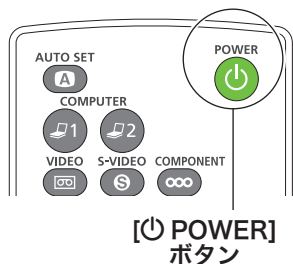
- * 1) 設定メニューで「ダイレクトパワーオン・オン」(☞ 74ページ)に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。
- 2) 設定メニューで「オートインプット・オン 2」(☞ 67ページ)に設定しているときは、電源が入ると同時に入力信号の検出を始めます。

** 設定メニューで、

- ・「オンスクリーン表示・オン」(☞ 69ページ)、「ロゴ選択・オフ」(☞ 70ページ)に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
- ・「オンスクリーン表示・オフ」に設定しているときは、「ロゴ選択」の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投写されます。
- ・「オンスクリーン表示・カウントダウンオフ」に設定しているときは、「ロゴ選択」の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投写されます。



リモコン



入力モード、ランプモード、オートインプットの表示❖

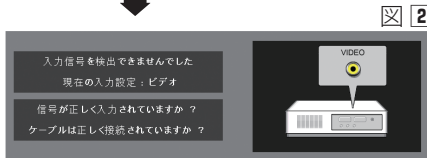
入力信号が見つからないとき

無信号時に表示されます。表示されるガイダンスに合わせて接続状況を確認することができます。

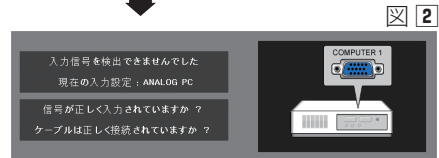
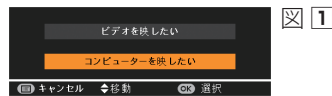
※「オンスクリーン表示・オフ」(P.69 ページ) のとき、メニュー表示などが現れているときは、表示されません。

- 1 入力信号が見つからないときに下図 ① が表示されます。[ポイント] ボタンの上でビデオまたはコンピューターを選択します。
- 2 自動的に信号の有無を確認し、それでも入力信号が確認されないときは、下図 ② が表示されます。信号の種類やケーブルの接続状況、出力機器の状況を確認してください。
※ 約 30 秒表示され、その後下図 ① に戻ります。このとき「オートインプット・オン 1/ オン 2」のときは信号を検索してから下図 ① に戻ります。

ビデオを映したい



コンピューターを映したい



ケーブルが正しく接続されていても、映らないときは、コンピューターの外部出力設定を取扱説明書などで確認してください。また、ノートブック型は、キーボードの [Fn] キーを押しながら、ファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。

⚠ 電源を切った後、すぐには電源が入りません


電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は [POWER] ボタンを押しても電源は入りません。

※ 本機は設定により電源を切った後のファンの回転速度を変えることができます。

P.82 ページ

エアフィルターおよびランプに関するお知らせ表示

電源を入れた後、プロジェクターの状態により右図のような「フィルター警告」および「ランプ交換」のお知らせ表示が出ることがあります。

 85、87 ページ

※ 表示は約 4 秒間出ます。



フィルター警告とランプ交換の表示

暗証番号の入力

※ 30 ページの「電源を入れる I・2」に続いて・・・

- 3 「暗証番号ロック」が「オン」のとき、30 ページの「手順 2」でカウントダウンが終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。
- 4 [ポイント] ボタンの上下で 0～9 の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを 2 けた目に移動します。(1 けた目の表示が「*」に変わります。) この操作を繰り返し、4 けた全ての数字を入力します。
- 5 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。
- 6 [OK] ボタンを押して決定します。
 - ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択し、[ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
 - ※ 4 けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。
- 7 正しく入力されていると、「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。
 - 暗証番号が入力されないと、約 3 分後に電源が切れます。



基本
操作本

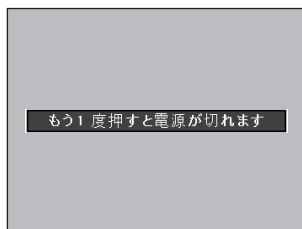
「暗証番号ロック」とは？

管理者以外の暗証番号を知らない、第三者によるプロジェクターの操作を防止します。

詳しくは 79 ページの「設定」メニューの、「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照してください。

電源を切る

- 1 リモコンまたは操作パネルの [⏻ POWER] ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」の表示が出ます。
- 2 表示が出ている間に再度ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると [POWER] インジケータが赤の点滅に変わり、ランプの冷却を始めます。



※ 表示は約4秒間出ます。



ダイレクトオフ機能について

- ・ご使用後、リモコンまたは操作パネルの [⏻ POWER] ボタンを押さずに電源コードを抜いて、電源を切ることができます。
※会議が終了してすぐに移動したいときなどに便利です。
- ・会議室やホールなど電源を集中管理している場所では、ボタンを押さずに電源コードを抜いたり、ブレーカーを落として電源を切ることができます。
※天吊りなどで手の届かない位置に設置したときなどに便利です。



電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は [⏻ POWER] ボタンを押しても電源は入りません。[POWER] インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。



ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、[⏻ POWER] ボタンで操作してください。



冷却ファンについて

投写している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。また、電源を切った後の、ファンの回転速度は調節することができます。☞ 82ページ



ケースなどにしまう前に

本機は [⏻ POWER] ボタンを押さずに電源コードをプロジェクターから抜いたり、ブレーカーを落として電源を切ることができますが、すぐにケースなどに収納すると、本体がしばらく高温になり故障の原因となりますので、プロジェクターがじゅうぶんに冷えてから、ケースなどに入れるようにしてください。

パワーマネジメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネジメント機能が搭載されています。30 秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。

☞ 73 ページ

パワーマネジメントモードの動作について

設定が「待機」のとき

- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作に入ります。ランプ冷却中は [POWER] インジケータが赤く点滅し、プロジェクターの操作はできません。
- 2) ランプの冷却が完了すると [POWER] インジケータの点滅が緑に変わり、パワーマネジメントモードになっていることを知らせます。この状態のときに、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投写されます。

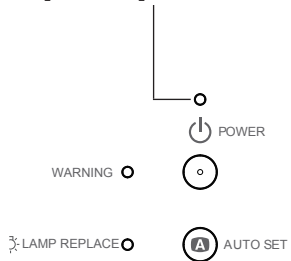
設定が「終了」のとき

- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプ冷却中はプロジェクターの操作はできません。
- 2) ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。



↑
ランプ消灯までの時間

[POWER] インジケータ



パワーマネジメントモードになると、[POWER] インジケータが緑の点滅を始めます。(設定が「待機」のとき)

プロジェクターを 24 時間以上連続して使用する場合は 24 時間に一度電源を切り、1 時間休ませてください。
休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

入力信号を選択する

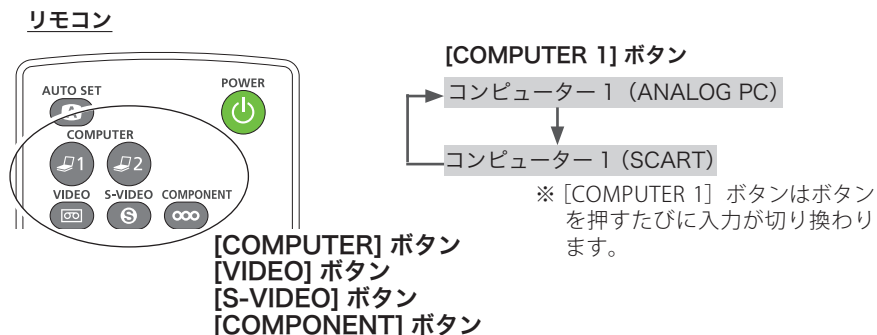
リモコンの [COMPUTER1/2、VIDEO、S-VIDEO、COMPONENT] ボタン

リモコンの [COMPUTER1/2、VIDEO、S-VIDEO、COMPONENT] ボタンで信号をダイレクトに選択することができます。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、入力メニューで正しい入力信号を選んでください。

☞ 45、46 ページ

※ 操作パネルには入力信号を選択するボタンはありません。



※ 「設定」メニューの中の「端子設定」で、「モニター出力」を選択している場合は、「モニター出力」と表示されます。

※ 「設定」メニュー内の「オートインプット」で「オン1/オン2」(☞ 67 ページ) を選択しているときは自動的に入力が切り換わります。このとき変換ケーブルで接続しているときは、入力信号が正しく検出されないときがあります。

投写画面の調整やその他の操作

投写画面を調整する

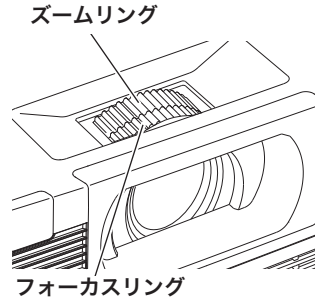
画面の大きさを決める

ズーム

[ズームリング] を回して、画面の大きさを調整します。

フォーカス

[フォーカスリング] を回して、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。



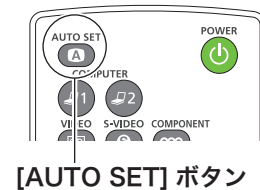
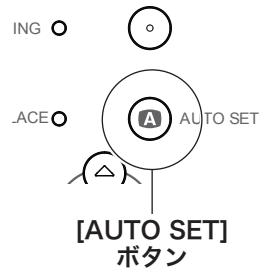
操作本

オートセットアップ

[AUTO SET] ボタン

「設定」メニューの「オートセットアップ」で設定した機能を自動調整します。☞ 67、68 ページ

- ・オートインプット
- ・オート PC (PC 入力時のみ)
- ・オートキーストーン



キーストーン調整（台形歪みの補正）

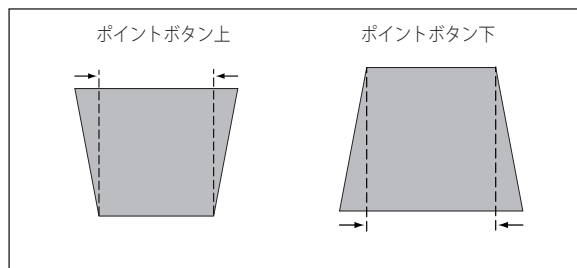
[KEYSTONE] ボタン

リモコンの [KEYSTONE] ボタンを押します。「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に[ポイント] ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。

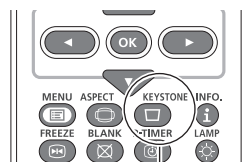
[ポイント] ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。

[ポイント] ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。

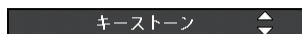
- ※ 「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度 [KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。
- ※ 「アスペクト」メニュー内の「キーストーン」からも調整することができます。 (P. 62 ページ)



- ※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
- ※ 入力信号によっては補正量が変わることがあります。
- ※ キーストーンの設定値によっては、一瞬画像が乱れることがあります。



[KEYSTONE] ボタン



- ※ 表示は約 4 秒間出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示・オフ」 (P. 69 ページ) のときは表示されません。
- ※ 補正された方向の矢印は青色で表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)
- ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

画質モードを選択する

[IMAGE] ボタン

[IMAGE] ボタンを押すごとに、画質モードが「プレゼンテーション」「スタンダード」「ハイコントラスト」「シネマ」「黒(緑)板」「カラーボード**」「ユーザー 1」「ユーザー 2」「ユーザー 3」「ユーザー 4」と切り換わります。

- ** 「カラーボード」の色の選択はメニュー画面で行ないます。
(P. 53 ページ)

[IMAGE] ボタン




- ※ 表示は約 4 秒間出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示・オフ」 (P. 69 ページ) のときは表示されません。

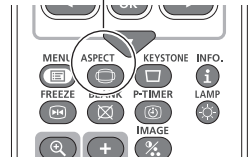
画面サイズを選択する


[ASPECT] ボタン

[ASPECT] ボタンを押すと、現在選択されている表示モードが表示され、その後ボタンを押すごとにモードが切り換わります。

※「アスペクト」メニューからも調整することができます。
 57～63 ページ

[ASPECT] ボタン



※ 表示は約 4 秒間出ます。
 ※「オンスクリーン表示・オフ」
 ( 69 ページ) のときは表示されません。

操作本

ランプの明るさを選択する

[LAMP] ボタン

ランプの明るさを「ハイ、ノーマル、エコ」モードの3段階で切り換え・選択することができます。



ハイ …… もっとも明るい設定です。

モード



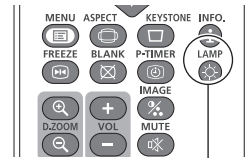
ノーマル …… ハイモードとエコモードの中間の明るさです。

モード




エコ …… ノーマルモードより明るさ（ランプの消費電力）を抑え、ファン回転数を低く設定します。

モード



[LAMP] ボタン

※「設定」メニュー内の「ランプモード」からも調整することができます。
 78 ページ

画面を一時的に静止させる

[FREEZE] ボタン

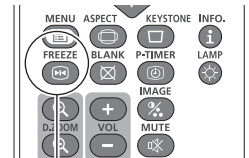
リモコンの [FREEZE] ボタンを押すと、再生機器に関係なく投写画面だけが静止します。静止中、音声も消えます。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。



こんなときに便利です

プレゼンターがコンピューターで次の資料の準備をする間、視聴者には [FREEZE] ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。



[FREEZE] ボタン



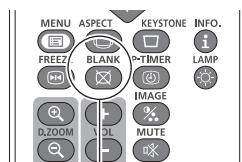
※ 動作中画面左上に表示されます。

画面を一時的に消す

[BLANK] ボタン

リモコンの [BLANK] ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投写画面を一時的に消すことができます。音声も消えます。

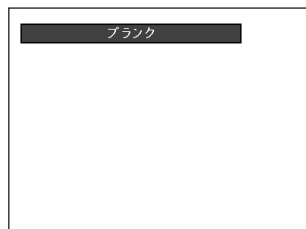
※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。



[BLANK] ボタン

ログ画面を表示させることができます

[BLANK] ボタンを2回押します。「設定」メニューの「ログ」内の「キャプチャー」(F70 ページ)を使い、「ロゴ選択 ユーザー」(F70、71 ページ)を選択していると、設定したロゴ画面を表示させることができます。



こんなときに便利です

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

※ 表示は約4秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示・オフ」(F69 ページ)のときは表示されません。

プレゼン時に経過時間または残り時間を表示する

[P-TIMER] ボタン

リモコンの [P-TIMER] ボタンを押すと「設定」メニュー内のカウントアップ/カウントダウンのうち、選択されている項目が実行されます。

もう一度 [P-TIMER] ボタンを押すと一時停止し、それまでのカウント時間を画面に表示します。さらに [P-TIMER] ボタンを押すとカウントが再スタートします。

また、カウント中に [P-TIMER] ボタンを3秒間長押しするとカウントがリセットされ、カウント表示は消えます。



[P-TIMER] ボタン

こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。



※ 000分00秒から最長180分00秒までカウント時間を画面表示できます。

※ カウントアップ/カウントダウンの選択、カウントダウン時間の設定は、「設定」メニュー内の「プレゼンテーションタイマー」を参照してください。(F75～77 ページ)

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー（画面上のメニュー）の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

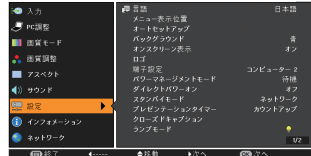
① ポインタの動かしかた

ポインタは、[ポイント] ボタンで上下左右に動かします。[ポイント] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

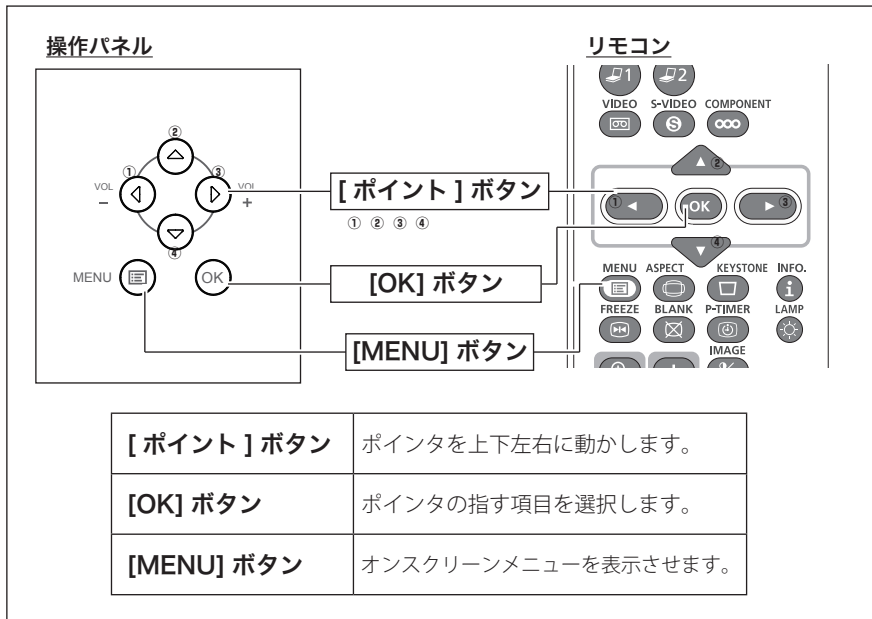
② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン（操作をイメージした図）を選択するには、[OK] ボタンを押します。[OK] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

オンスクリーンメニューの例



操作本



操作の手順

画面にメニューを表示させる

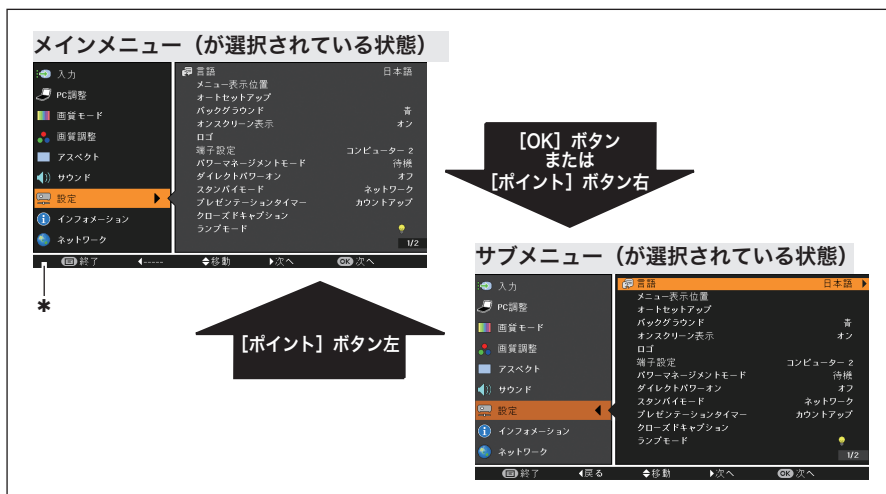
- 1 リモコンまたは操作パネルの [MENU] ボタンを押すと、画面上にメニューが表示されます。(下図)
メニューには選択できる項目が表示されます。

メニューを選択する

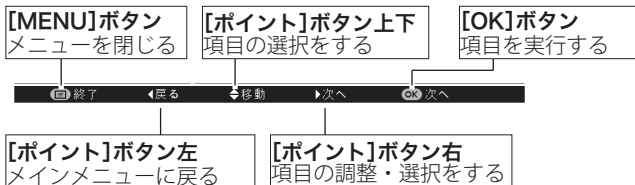
- 2 [ポイント] ボタンの上下で選択したい項目に移動させます。
表示されているメニューの右側に、選択した項目の詳細なメニュー(サブメニュー)が表示されます。

メニュー画面で調整や切り換えを行なう

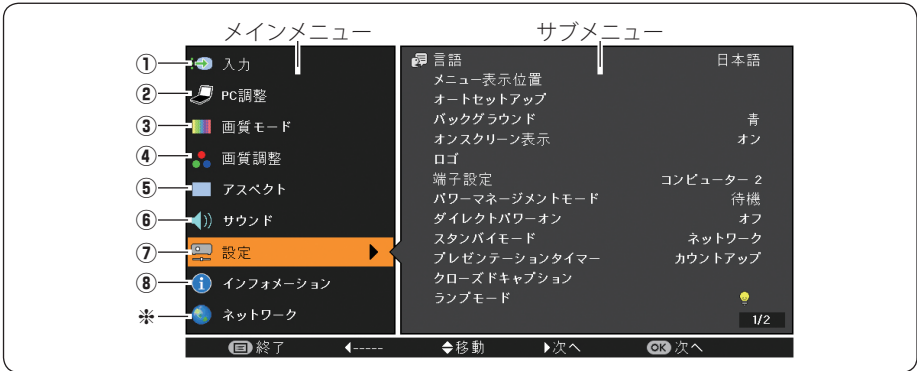
- 3 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、調整する項目を [ポイント] ボタン上下で選択します。
- 4 上下左右の [ポイント] ボタンや [OK] ボタンで、調整や切換えを行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明の項目を参照してください。また、サブメニューの次にさらに詳細な設定をするメニューが表示される項目もあります。(この説明書内では、サブメニュー1・サブメニュー2などと表現します。)



ガイド* について
選択・実行するボタンを表示
しています。
右図はサブメニューのガイド



メニュー一覧



操作
本

<p>① 入力 45～48 ページ 入力信号の選択をします。</p>	<p>コンピューター 1、コンピューター 2、ビデオ</p>
<p>② PC 調整* 49～52 ページ お使いのコンピューターに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。</p>	<p>オート PC、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直位置、コンピューター情報、クランプ、画面領域 H、画面領域 V、リセット、データ消去、メモリー</p>
<p>③ 画質モード 53 ページ 画質モード選択します。</p>	<p>プレゼンテーション、スタンダード、ハイコントラスト、シネマ、黒 (緑) 板、カラーボード、ユーザー 1～4</p>
<p>④ 画質調整 54～56 ページ 画面の画質をマニュアルで調整します。</p>	<p>コントラスト、明るさ、色の濃さ**、色合い**、アイリス、色温度、ホワイトバランス (赤 / 緑 / 青)、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション**、プログレッシブ**、リセット、メモリー</p>
<p>⑤ アスペクト 57～63 ページ 画面の大きさのモード設定をします。</p>	<p>ノーマル、フル、16:9、ズーム、リアル*、ピットリワイド**❖、カスタム、カスタム調整、デジタルズーム + / - *、キーストーン、天吊り、リア投映、スクリーンアスペクト❖、リセット</p>
<p>⑥ サウンド 64～65 ページ 音量の調節や消音の切り換えをします。</p>	<p>音量、消音、マイク、マイクゲイン、スタンバイマイク</p>
<p>⑦ 設定 66～86 ページ プロジェクターの各種設定を行います。</p>	<p>言語、メニュー表示位置、オートセットアップ、バックグラウンド、オンスクリーン表示、ロゴ、端子設定、パワーマネージメントモード、ダイレクトパワーオン、スタンバイモード、プレゼンテーションタイマー、クローズドキャプション、ランプモード、リモコンコード、セキュリティ、ファン、ファン制御、映像遅延制御、ランプカウンター、フィルターカウンター、警告履歴、初期設定</p>
<p>⑧ インフォメーション 44 ページ 投写中の信号状況と設定の状況を表示します。</p>	<p>入力、水平周波数、垂直周波数、アスペクト、言語、ランプ状態、ランプカウンター、パワーマネージメントモード、キーロック、暗証番号ロック、リモコンコード、SERIAL NO.</p>

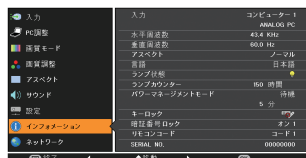
- * 『ネットワーク使用説明書 (別冊)』をご覧ください。
- * コンピューター画面のときのみ表示、または選択可
- ** ビデオ画面のときのみ表示、または選択可
- ❖ LV-8225 のときのみ表示、選択可

投写中の入力信号の状況やランプの状態を確認する

「インフォメーション」で、投写中の入力信号の状況とランプの状態を画面上で確認することができます。

1 リモコンまたは操作パネルの [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で [インフォメーション] を選択します。

2 サブメニューに、以下の内容が表示されます。



※ ランプは交換推奨時間、フィルターは掃除推奨時間に達すると時間を赤色で表示します。
※ ランプ換算時間などが読み取り不可能なときは「--」で表示します。

インフォメーションの項目

入力	投写中の信号の種類
水平周波数	(およその目安の数値です)
垂直周波数	(およその目安の数値です)
アスペクト	選択中の画面サイズ
言語	選択中の言語
ランプ状態	選択中のランプモード
ランプカウンター	実使用時間を表示します。
パワーマネージメントモード	設定内容が表示されます。
キーロック	キーロックの設定状況が表示されます。
暗証番号ロック	暗証番号ロックの設定状況が表示されます。
リモコンコード	設定されているリモコンコードを表示します。
SERIAL NO.	(8桁の英数字)

※ 「インフォメーション」を閉じたいときは、[ポイント] ボタンの上下を押すと他の項目に移り、リモコンの [INFO.] ボタンを押すとメニュー画面ごと消えます。

リモコン



[INFO.] ボタン

リモコンの [INFO.] ボタンで直接選択、表示させることができます。

※ [INFO.] ボタンは操作パネルにはありません。

こんなときに便利です

プロジェクターの準備・設置などでうまく投写できないなどのときに、この画面が簡単に問題解決の手助けになります。

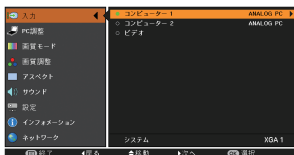
入力の選択・設定・調整

入力を切り換える

「入力」メニューで入力を切り換える

- 1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「入力」メニューを選択します。
- 2 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポイントを押した入力に合わせ、[OK] ボタンを押します。
※「コンピューター 1」は[ポイント] ボタン右を押すと、信号選択メニュー（サブメニュー 2）が表示されます。
- 3 信号選択メニューが表示されたら、[ポイント] ボタンの上下で信号を選択し、[OK] ボタンを押します。

入力メニュー



☐ [OK] ボタンまたは
☐ [ポイント] ボタン右



設定力
の
調整
。

コンピューター 1

ANALOG PC [COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMPONENT IN] 端子にコンピューターのアナログ信号が接続されているときに選択します。

COMPONENT [COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMPONENT IN] 端子にコンポーネントビデオ信号が接続されているときに選択します。

SCART [COMPUTER IN 1/COMPONENT IN] 端子に映像機器の SCART 映像出力*が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。

S-VIDEO [COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMPONENT IN] 端子に S 映像信号が接続されているときに選択します。

※ [COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMPONENT IN] にビデオ機器からの S 映像または、コンポーネント信号を接続しているときは「コンピューター 1」から「S-VIDEO」または「COMPONENT」を選択します。

* SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子の ANALOG PC 出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの [COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMPONENT IN] を専用のケーブルで接続します。[COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMPONENT IN] で再生される RGB SCART 信号は 480i、575i の RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

コンピューター2

[COMPUTER IN 2/MONITOR OUT] 端子に、コンピューターのアナログ信号が接続されているときに選択します。(信号選択メニューは表示されません)



※「設定」内の「端子」で「モニター出力」を選択している場合は、「コンピューター2」はグレーで表示され選択できません。

ビデオ

[VIDEO IN] 端子に、ビデオ入力信号が接続されているときに選択します。(信号選択メニューは表示されません)



※ [COMPUTER IN 1/S-VIDEO IN/COMPONENT IN] に、ビデオ機器からのコンポーネント信号または、S映像信号を接続しているときは、「コンピューター1」から「COMPONENT」または「S-VIDEO」を選択します。☰前ページ

コンピューターシステムの選択

システムモードが自動選択されます

(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピューターの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・) を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作をせずにコンピューター画面を投写することができます。☞ 99～101 ページ
 選択されたシステムモードは、サブメニューの「システム」に表示されます。

💡 システムに表示されるメッセージ

- Auto** ... 接続されたコンピューターの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、オート PC 機能が働き、システムに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投写されないときは、お使いのコンピューターに合わせてマニュアルで調整し、「カスタムモード*」に登録してください。☞ 49～52 ページ
- ... コンピューターの入力信号がありません。接続を確認してください。☞ 17、25 ページ
- モード 1** ... マニュアルで登録された「カスタムモード」が選択されたとき表示されます。

システムモードを選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「入力」メニューを選択します。
- 2 [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを「コンピューター 1」に合わせて [OK] ボタンを押します。
- 3 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、サブメニューの下方にある「システム」に合わせて、[OK] ボタンを押します。
 システムモードを選択するサブメニュー 2 が表示されます。
- 4 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて [OK] ボタンで選んでください。
- 5 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。



[OK] ボタン



* カスタムモード：お使いのコンピューターに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。
 ☞ 49～52 ページ

設定
 入力
 設定
 の
 調整
 選択
 。

ビデオシステムの選択

システムモードを選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「入力」メニューを選択します。
- 2 [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを「ビデオ」に合わせ [OK] ボタンを押します。
- 3 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、サブメニューの下方にある「システム」に合わせ、[OK] ボタンを押します。
システムモードを選択するサブメニュー 2 が表示されます。
- 4 [ポイント] ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて [OK] ボタンで選んでください。
- 5 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。



VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto (自動)

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※「PAL-M」「PAL-N」は自動選択されません。上記「1」「2」の手順で選択してください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

コンポーネント入力選択時

Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、メニューの中から正しい走査方式を選んでください。

コンピューターシステムの調整

メニューから調整する

オート PC

- [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「PC 調整」メニューを選択します。
- [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを「オート PC」に合わせ、[OK] ボタンを押すと自動調整を実行します。

PC 調整メニュー



- ※ オート PC 機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピューターもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。(P.49～52 ページ)
- ※ 自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、「マニュアル PC 調整の手順 3-3、メモリー」の項目をご覧ください。
- ※ システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、オート PC 機能ははたらかしません。
- ※ ご使用のコンピューターまたは、信号の種類によっては、正しく映らないときがあります。

設定
入力
力
の
調
選
整
択

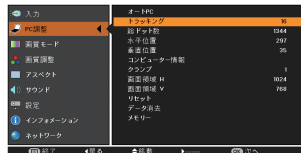
マニュアル PC 調整 (「カスタムモード」に登録する)

本機は、接続されたコンピューターの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピューターによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「Auto」と表示され、画像が正しく投写されないときは、PC 調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。「カスタムモード」は 10 個まで登録することができます。

手順

- [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「PC 調整」メニューを選択します。
- [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを調整したい項目に合わせ、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと調整したい項目の詳細メニューが現れます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。

PC 調整メニュー



[OK] ボタンまたは
[ポイント] ボタン右



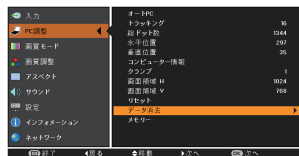
- ※ 詳細メニュー表示で [ポイント] ボタンの上下を押すと、調整したい項目を順送りすることができます。

3-1 リセット

- ① ポインタを「リセット」に合わせ、[OK] ボタンを押すと「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。
- ② 「はい」を選択し [OK] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [OK] ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。
※ 自動的にサブメニューに戻ります。

3-2 データ消去

- ① ポインタを「データ消去」に合わせ、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと、サブメニュー 2 に各モードの登録内容が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で消去したいモードを選択し [ポイント] ボタン右、または [OK] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し [OK] ボタンを押すと登録が解除され、サブメニュー 2 に戻ります。
※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [OK] ボタンを押すとサブメニュー 2 へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。
- ④ [ポイント] ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。



3-3 メモリー ※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

- ① ポインタを「メモリー」に合わせ、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと、サブメニュー 2 に各モードの登録内容が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で登録したいモードを選択し [ポイント] ボタン右、または [OK] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- ③ 「はい」を選択し [OK] ボタンを押すと登録が完了し、サブメニュー 2 に戻ります。



※ 登録されるとモード番号の後ろに「データあり」と表示されます。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [OK] ボタンを押すとサブメニュー 2 へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

- ④ [ポイント] ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。

項目

操作手順

- ① ポインタを項目に合わせ、[OK] ボタンを押すと、詳細メニューが表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの左右で調整します。
- ③ [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。
※ 詳細メニュー表示で [ポイント] ボタンの上下を押すと、下記項目が順送りで表示されます。

トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。(0 から 31 まで)

※ コンピューターによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピューター情報

現在接続しているコンピューターの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

- ① ポインタを「コンピューター情報」に合わせ、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押します。
サブメニュー 2 で水平周波数と垂直周波数を表示します。
- ② [ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。



☰ [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右



クランプ

クランプ位置を調整します。
投写している映像に暗い線が出ているときに使います。

画面領域 H

水平解像度を調整します。
[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

画面領域 V

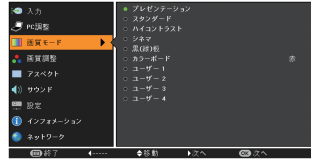
垂直解像度を調整します。
[ポイント] ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※ システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i のシステムモードが選択されているときは、「画面領域 H/V」の調整はできません。

画質の調整

画質モードを選択する

- 1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「画質モード」メニューを選択します。
- 2 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、お好みのモードに合わせ、[OK] ボタンを押します。



[OK] ボタンまたは
[ポイント] ボタン右



プレゼンテーション

「スタンダード」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

スタンダード

「画質調整」メニューの項目が、工場出荷時設定の標準値になります。

ハイコントラスト

グラフィックを自然な階調で再現します。

シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。

黒(緑)板

教室などの緑色をした黒板に投写するとき、白いスクリーンに投写したときに近い色合いを再現します。

カラーボード

スクリーンの準備ができないときなど、色のついた壁などに投写するとき、白いスクリーンに投写したときに近い色合いを再現します。

操作手順

- ① [ポイント] ボタン右を押すと色選択画面 (赤 / 青 / 黄 / 緑) が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で投写面の色に近い項目を選択し、[OK] ボタンを押します。
- ③ [ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。

ユーザー 1～4

※ コンピューター、ビデオのそれぞれで登録できます。

画質調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。

マニュアルで画質調整を行なう

手順

1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「画質調整」メニューを選択します。

2 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを調整したい項目に合わせ、[OK] ボタンを押すと調整したい項目の詳細メニュー(*)が現れます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。

※ 詳細メニュー表示で [ポイント] ボタンの上下を押すと、調整したい項目を順送りすることができます。

3-1 リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、[OK] ボタンを押すと、「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。

② 「はい」を選択し [OK] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル (リセット) し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し [OK] ボタンを押すとキャンセル (リセット) を中止することができます。

※ 自動的にサブメニューに戻ります。

3-2 メモリー

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと、サブメニュー 2 に「ユーザー 1～4」の登録内容が表示されます。

② [ポイント] ボタンの上下で登録したいモードを選択し [ポイント] ボタン右、または [OK] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

③ 「はい」を選択し [OK] ボタンを押すと登録が完了し、サブメニュー 2 に戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [OK] ボタンを押すと「ユーザーイメージ登録画面」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。



[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右



[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右



項目

操作手順

- ① ポインタを項目に合わせ、[OK] ボタンを押すと、詳細メニューが表示されます。
 - ② [ポイント] ボタンの左 (◀) 右 (▶) で調整します。
 - ③ [OK] ボタンを押すとサブメニューに戻ります。
- ※ 詳細メニュー表示で [ポイント] ボタンの上下を押すと、下記項目が順送りで見られます。

コントラスト

◀ うすくなる ▶ こくなる (0 ~ 63)

明るさ

◀ 暗くなる ▶ 明るくなる (0 ~ 63)

色の濃さ

◀ うすくなる ▶ こくなる (0 ~ 63)

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。

色合い

◀ 紫がかる ▶ 緑がかる (0 ~ 63)

※ ビデオ入力またはコンポーネント入力時のみ調整できます。
 ※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

オートアイリス

[ポイント] ボタンの左右でアイリスの「オン/オフ」を切り換えます。

色温度

◀ 超低へ ▶ 高へ (超低 - 低 - 中 - 高)

※ 超低 (赤みがる) ~ 高 (青みがる)
 ※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。
 ※ 「ホワイトバランス」(赤 / 緑 / 青のどれか 1 つでも) の調整をすると「ユーザー」と表示されます。

ホワイトバランス(赤/緑/青)

◀ うすくなる ▶ こくなる (各色 0 ~ 63)



[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右



設定力
の
調整
。

画質

◀ やわらかい ▶ くっきり (0～15)

ガンマ補正

[ポイント] ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。
(0～15)

ノイズリダクション

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ザラつき(ノイズ)が軽減されます。

オフ …… ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

L1 …… ノイズリダクション：弱

L2 …… ノイズリダクション：強

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p の信号を選択しているとき、またはコンピューター信号入力時は「ノイズリダクション」は選択できません。



ノイズリダクションの使い分け

ノイズリダクションを使用すると、動きの早い映像を見るとき、残像が発生することがあります。

- 動きの早い映像(アクション映画など)のときは「L1」(弱)に設定する。
- 動きの遅い映像のときは「L2」(強)に設定する。

プログレッシブ

オフ …… 動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは「オフ」に設定してください。

L1 …… プログレッシブスキャンを「ON」にします。(動画のとき)

L2 …… プログレッシブスキャンを「ON」にします。(静止画のとき)

フィルム

…「3-2 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投写するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p の信号を選択しているとき、またはコンピューター信号入力時は「プログレッシブ」は選択できません。

画面サイズの調整

お好みにより、画像サイズを変えることができます。

- 1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「アスペクト」メニューを選択します。
 - 2 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、アスペクトモードを選択し、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押します。
- ※ リモコンの [ASPECT] ボタンで直接選択、表示させることができます。 (P.39 ページ)



[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右



画面サイズの選択（コンピューター入力時）

ノーマル

入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大の大きさで表示します。

注) LV-7290/7295/7390
1024 × 768 ドット
LV-8225
1280 × 800 ドット

フル

フルスクリーンサイズで投写します。

16:9

画像をパネル解像度^{注)}の幅に合わせ、横 16 : 縦 9 のワイド画面で投写します。

ズーム

LV-7290/7295/7390

パネルサイズ、横 4 : 縦 3 いったいに投写します（アスペクト保持）。横 4 : 縦 3 より横に長い場合は左右が切れ、縦に長い場合は上下が切れます。

LV-8225

「スクリーンアスペクト」で設定したアスペクトいったいに投写します（入力信号のアスペクト保持）。「スクリーンアスペクト」の設定値より横に長い場合は左右が切れ、縦に長い場合は上下が切れます。

リアル

画像をオリジナルサイズで投写します。

- ① 画像サイズがパネル解像度^{注)} よりも小さいときは、画面の中央に投写し、画面左上に「リアル」の表示が現れます。
- ② 画像サイズがパネル解像度^{注)} と同じときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れますが、その後「ノーマル」で投写されます。
- ③ 画像サイズがパネル解像度^{注)} よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れ、画面の上下左右に△が表示されます。[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

※ 「リアル」を選択しているとき、「デジタルズーム +・-」は選択することができません。

デジタルズーム+

「デジタルズーム+」を選択するとメニューが画面から消え、「D.zoom +」表示が現われます。

[OK] ボタンを押すごとに画像が拡大します。

[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

画像の移動機能は、画像サイズがパネル解像度^{注)} よりも大きいときのみはたらきます。

デジタルズーム-

「デジタルズーム-」を選択するとメニューが画面から消え、「D.zoom -」表示が現われます。

[OK] ボタンを押すごとに画像が縮小します。

[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

画像の移動機能は、画像サイズがパネル解像度^{注)} よりも大きいときのみはたらきます。

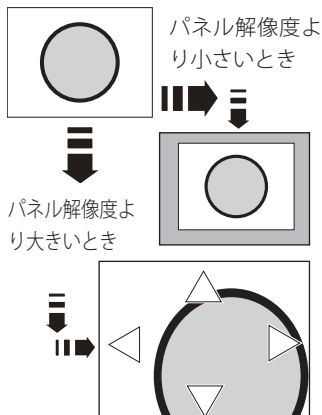


メモ

- ※ 「ノーマル」モードへ戻るときは、ポインタを「ノーマル」モードに合わせ [OK] ボタンを押します。
- ※ パネル解像度^{注)} 以外の画像データは、初期画面でパネル解像度^{注)} に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
- ※ 入力信号がないとき、「フル・16:9・ズーム・リアル・ピットリワイド・カスタム調整・デジタルズーム+/-」はグレーで表示され選択できません。
- ※ 「デジタルズーム+/-」モードから抜けるときは、[D.ZOOM、OK、ポイント] 以外のボタンを押します。
- ※ 以下のときは「デジタルズーム+/-」モードがリセットされ、調整される前の画面の状態に戻ります。
 - ・入力信号がないとき・インプットを切り換えたとき・パワーマネージメントが実行されたとき・電源を切ったとき

注) LV-7290/7295/7390
1024 × 768 ドット
LV-8225
1280 × 800 ドット

リアル



- ※ 補正された方向の矢印は青く表示されます。
- ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

- ※ PC 調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピューターのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらかないことがあります。
- ※ システムモード (C/F 47 ページ) で「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン」調整が最大値のとき、「デジタルズーム」が正しくはたらかないときがあります。

「カスタム」、「カスタム調整」は次ページ

画面サイズの選択 (ビデオ / コンポーネント入力時)

ノーマル

入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大の大きさで表示します。

フル

フルスクリーンサイズで投写します。

16:9

LV-7290/7295/7390

アスペクト比横 4 : 縦 3 の映像信号を、アスペクト比横 16 : 縦 9 のワイド画面で投写します。

LV-8225

スクイーズ信号 (横 16 : 縦 9 の映像を横 4 : 縦 3 に横方向に圧縮した信号) を、アスペクト比横 16 : 縦 9 のワイド画面で投写します。

ズーム

LV-7290/7295/7390

パネルサイズ、横 4 : 縦 3 っぱいに投写します (アスペクト保持)。横 4 : 縦 3 より横に長い場合は左右が切れ、縦に長い場合は上下が切れます。

LV-8225

「スクリーンアスペクト」で設定したアスペクトっぱいに投写します (入力信号のアスペクト保持)。「スクリーンアスペクト」の設定値より横に長い場合は左右が切れ、縦に長い場合は上下が切れます。

ピットリワイド

※ LV-8225 のみ表示・選択できます。

中央部はあまり変えずに、自然な映像になるように左右を拡大し、アスペクト比横 16 : 縦 9 のワイド画面で投写します。

画面サイズの選択（コンピューター・ビデオ共通）

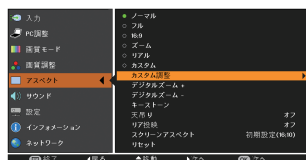
カスタム

「カスタム調整」で調整したモードで投写します。

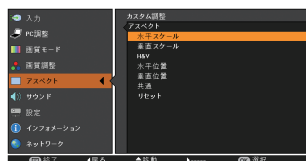
カスタム調整

水平と垂直の、スケールおよび位置を調整します。

- 1 [OK] ボタンまたは[ポイント] ボタン右を押します。
※ アスペクトモードの「カスタム」を選択することになります。
- 2 サブメニュー 2 の調整画面が表示されます。
- 3 [ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと詳細メニューが表示されます。
※ 「H&V」は [OK] ボタン押しで、サブメニュー 2 上で調整します。
※ 詳細メニュー表示で [ポイント] ボタンの上下を押すと、「H&V、共通、リセット」以外のメニューが順送りで表示されます。
- 4 [ポイント] ボタンの左右で調整し、[OK] ボタンでサブメニューに戻ります。



[OK] ボタンまたは
[ポイント] ボタン右



[OK] ボタンまたは
[ポイント] ボタン右



- ※ 無信号時は調整できません。無信号時は「アスペクト調整」の調整値は反映されません。
- ※ 調整中に無信号になると、調整値は保持されますが、「アスペクト調整」画面は消えます。

水平スケール

水平のスケールを調整します。

垂直スケール

垂直のスケールを調整します。

H&V

垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動させ、映像のアスペクトを保持したままスケール調整をするときに「オン」を選択します。

[OK] ボタンを押すと、△▽がサブメニュー 2 上に表示されます。[ポイント] ボタンの上下で「オン・オフ」を選択します。[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン左でサブメニュー 2 に戻ります。

※「水平スケール」で調整し、数値の変化に合わせて「垂直スケール」の数値も変化します。

水平位置

水平位置を調整します。

垂直位置

垂直位置を調整します。

共通

調整した内容を全ての入力に反映します。 **

[OK] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し [OK] ボタンを押すと登録されます。
(自動的にサブメニューに戻ります。)

リセット

調整した内容を全てリセットします。

[OK] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」を選択し [OK] ボタンを押すとリセットされます。
(自動的にサブメニューに戻ります。)

** たとえば、コンピューター入力で「水平スケール」を「0」から「2」に変えて登録したとき、ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「水平スケール」に「2」が表示されている、ということです。

キーストーン

画面上下の台形ひずみの補正に関する設定を行ないます。

- ① 「キーストーン」を選択して [OK] ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で設定する項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。

キーストーン

画面上下の台形ひずみを補正します。

「キーストーン」を選択して [OK] ボタンを押すと、画面中央に「キーストーン」が表示されます。表示が現れている間に [ポイント] ボタン上下で台形ひずみを補正します。[ポイント] ボタン上で上側が縮み、[ポイント] ボタン下で下側が縮みます。補正した方向の矢印が青色に変わり、補正の限界に達すると矢印が消えます。

メモリー

キーストーン調整値の保持について設定します。

「メモリー」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を変更します。

メモリー …… AC コードの抜き差しをしても調整値を保持します。

リセット …… AC コードの抜き差しをすると調整が解除されます。

<ご注意>

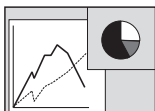
※「天吊り」を「オン」に設定すると、キーストーン調整が解除されます。

天吊り

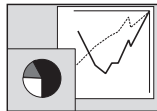
この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときを設定します。

「天吊り」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で設定を切り換えます。

オフ (通常の画像)



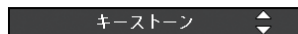
オン (天吊り投写設定時)



キーストーン



[OK] ボタンで表示が現れます



- ※ 表示は約 4 秒間出ます。
- ※ 「オンスクリーン表示」が「オフ」(P.69 ページ) のときは表示されません。
- ※ 補正された方向の矢印は青く表示され、補正の限界に達すると矢印の表示が消えます。
- ※ 表示が現れているあいだに、リモコンの [KEystone] ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

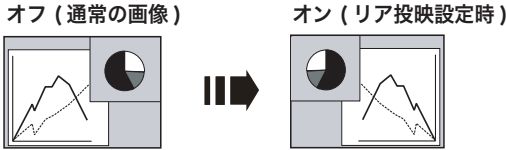
<「オン」設定時のご注意>

- キーストーン補正は解除されます。
- オートキーストーン (P.68 ページ) は作動しません。

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投写するときに設定します。

「リア投映」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で選択します。



スクリーンアスペクト

※ LV-8225 のみ表示・選択できます。

入力信号に関わらず、選択されたスクリーンアスペクトで投写します。

「スクリーンアスペクト」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で選択します。

初期設定 (16 : 10) …… 16 : 10 スクリーンオリジナル

4 : 3 …… 4 : 3 スクリーン固定

16 : 9 …… 16 : 9 スクリーン固定

使用できるアスペクトモード一覧

スクリーンアスペクト	初期設定 (16 : 10)		4 : 3		16 : 9	
	入力		入力		入力	
アスペクトモード	PC	ビデオ	PC	ビデオ	PC	ビデオ
ノーマル	○	○	○	○	○	○
フル	○	○	○	○	○	○
16 : 9	○	○	○	○	×	×
ズーム	○	○	○	○	○	○
リアル	○	—	○	—	○	—
ピッタリワイド	—	※	—	×	—	※
カスタム	○	○	○	○	○	○

※ ビデオ入力で 720p、1035i、1080i の信号のとき、ピッタリワイドは選択できません。
 × グレイアウトして選択できません。

リセット

「アスペクト」メニューの設定項目で、お客さまが設定した内容をすべて工場出荷状態に戻します。

[OK] ボタンを押すと、「OK ?」の確認メニューが表示されますので、[ポイント] ボタンの上下でいずれかにポイントを合わせて [OK] ボタンを押します。



音声の調整

ダイレクトボタンで音を調節する

音量

リモコンまたは操作パネルの [VOLUME] ボタン (+/-) で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消音

リモコンの [MUTE] ボタンを押すと、表示が「オン」になり、一時的に音が消えます。もう一度 [MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME] ボタン (+/-) を押すと解除され、表示が「オフ」になります。

※ [MUTE] ボタンは操作パネルにはありません。

サウンドメニューで音を調節する

- 1 リモコンまたはコントロールパネルの [MENU] ボタンでメニューバーを出し、[ポイント] ボタン上下で「サウンド」メニューに合わせます。
- 2 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右で、サブメニュー内に入り、[ポイント] ボタン上下で項目に合わせ、[OK] ボタンで選択します。

音量

[ポイント] ボタン右で音量が大きくなり、[ポイント] ボタン左で音量が小さくなります。音量のバーを目安に調節してください。

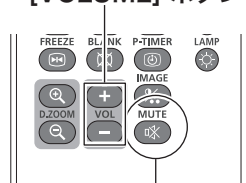
[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。

消音

[OK] ボタンで「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

※「オン」を選択していても、「音量」または「マイクゲイン」の数値を変更すると、自動的に「オフ」になります。

[VOLUME] ボタン



[MUTE] ボタン

音量の目安になります。



[MUTE] ボタンを押すと「オン」「オフ」が切り換わります。

※ 表示は約 4 秒間出ます。

※ 「オンスクリーン表示・オフ」(P.69 ページ) のときは表示されません。

サウンドメニュー



※ [OK] ボタンまたは、[ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。

マイク

[ポイント] ボタン上下で「オン/オフ」を切り換え、[OK] ボタンを押します。
「オン」が選択されると、[AUDIO IN (PC/MIC)] 端子をマイク入力として扱い、マイク入力と通常音声入力（映像と同期）を、スピーカまたは音声出力端子から出力します。



マイクゲイン

マイク設定が「オン」の時のゲイン調整です。[ポイント] ボタン右でゲインが大きくなり、[ポイント] ボタン左でゲインが小さくなります。

◀ゲイン小さく ▶ゲイン大きく (0～63)

※マイク設定が「オフ」の時は選択できません。

スタンバイマイク

[ポイント] ボタン上下で「オン/オフ」を切り換え、[OK] ボタンを押します。

「オン」が選択されると、待機中にマイク入力をスピーカまたは音声出力端子から出力します。

※マイク設定が「オフ」の時は選択できません。

※スタンバイモードが「エコ」に設定されている時は選択できません。「ネットワーク」に設定してください。

75 ページ

音声入力端子の使用区分

「マイク」の設定	入力選択	AUDIO IN (L/R 端子)	AUDIO IN (PC/MIC 端子)
オフ	コンピューター1	—	コンピューター1 音声入力
	コンピューター2	—	コンピューター2 音声入力
	ビデオ	ビデオ音声入力	—
オン	コンピューター1	コンピューター1 音声入力	マイク入力
	コンピューター2	コンピューター2 音声入力	マイク入力
	ビデオ	ビデオ音声入力	マイク入力

各種機能の設定

「設定」メニューで各種機能の設定をする

手順

- 1 [MENU] ボタンを押してメインメニューを表示し、[ポイント] ボタン上下で「設定」メニューを選択します。
- 2 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニューに入ります。[ポイント] ボタン上下で項目を選択して [OK] ボタンを押すと、さらにサブメニュー2が表示され、サブメニュー2から選択肢を選んで [OK] ボタンを押して決定します。
また、項目を選択して [OK] ボタンを押すと、項目に△▽が表示される場合があります。この場合には、[ポイント] ボタン上下で項目の設定を切り換えることができます。
- 3 項目の設定が完了したら [ポイント] ボタン左で前の画面に戻ります。また、[MENU] ボタンを押すとメニューを終了します。

※ 操作できるボタンと用法が、メニュー下のガイドに表示されます。ガイドについては42ページを参照してください。

項目

言語

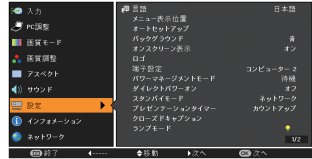
画面表示の言語を切り換えます。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、ハンガリー語、ルーマニア語、ロシア語、トルコ語、カザフ語、ベトナム語、中国語、韓国語、日本語、タイ語の計20か国語から選択できます。

- ① 「言語」を選択して [OK] ボタンを押すと、サブメニュー2 (言語選択メニュー) が表示されます。
- ② [ポイント] ボタン上下で項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。

メニュー表示位置

オンスクリーンメニューを表示する位置を変更します。[OK] ボタンを押すたびに、右図の番号順にメニュー画面が移動します。

メインメニュー



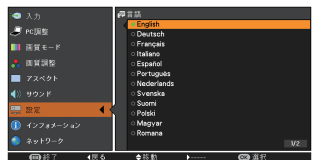
[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右

サブメニュー

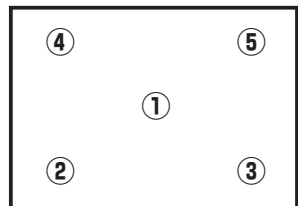


[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右

サブメニュー2



[ポイント] ボタン上下で選択し、[OK] ボタンで決定。



オートセットアップ

オートセットアップ機能の動作内容の設定を行ないます。

- ① 「オートセットアップ」を選択して [OK] ボタンを押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [ポイント] ボタン上下で設定する項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。

オートインプット

信号の有無を検出し、入力がある信号を自動的に投写する機能です。「オートインプット」の動作を設定します。

「オートインプット」を選択して [OK] ボタンを押すと △▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。

オフ ……「オートインプット」は動作しません。

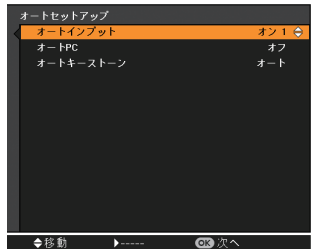
オン1 …… 操作パネルまたはリモコンの [AUTO SET] ボタンを押したときに動作します。

オン2 …… 以下のときに動作します。

- ① 操作パネルまたはリモコンの [POWER] ボタンで電源を入れたとき。
- ② 操作パネルまたはリモコンの [AUTO SET] ボタンを押したとき。☞ 37 ページ
- ③ 投写している信号が入力されなくなったとき。

- ※ 「オン2・①」設定時、「暗証番号ロック」が「オン」の場合には「オートインプット」は作動しません。
- ※ 「オン2・③」設定時、無信号になったときにオンスクリーンメニューが表示されていた場合には「オートインプット」は作動しません。その後メニューを消しても作動しません。
- ※ 「FREEZE」、[BLANK] の動作中に無信号になったときは、それぞれが解除されてから信号の検出を開始します。
- ※ 「オートインプット」の動作中に、操作パネルの [POWER]、[MENU]、[AUTO SET]、[INPUT] ボタン、リモコンの [POWER]、[MENU]、[AUTO SET]、[COMPUTER 1]、[COMPUTER 2]、[VIDEO]、[S-VIDEO]、[COMPONENT] ボタンを押すと、検出動作を停止します。
- ※ ANALOG PC 入力は、セパレートシンクのみ「オートインプット」に対応しています。
- ※ 変換ケーブルで接続している場合には、入力信号が正しく検出されないことがあります。

オートインプット



オート PC

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」を自動で調整する機能です。オート PC の動作を設定します。

「オート PC」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。

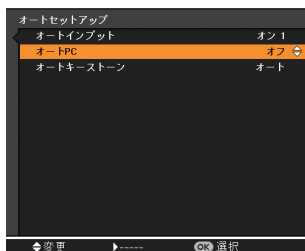
オフ … オート PC を行ないません。

オン … オート PC を行ないます。

※ 工場出荷時は「オン」に設定されています。

※ オート PC で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は手動で調整して「カスタムモード」に登録してください。☞ 49～52 ページ

オート PC



オートキーストーン

画面の上下の台形ひずみを自動で補正する機能です。オートキーストーンの動作を設定します。

「オートキーストーン」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で設定を切り換えます。

オフ … 「オートキーストーン」は動作しません。

オート … プロジェクターを傾けると常に「オートキーストーン」が働くように設定します。

手動 … 操作パネルの「AUTO SET」ボタンを押したときに「オートキーストーン」が働くように設定します。

※ 工場出荷時は「オート」に設定されています。

※ 電源オン後のカウントダウン中にはオートキーストーンは動作しません。カウントダウン終了後に動作します。

※ 「天吊り」が「オン」のとき、オートキーストーンは動作しません。また、オートキーストーンの設定も行なえません。

※ オートキーストーン動作中に他のボタンを押すと、オートキーストーンによる自動補正が中止されます。なお、押したボタンの機能は動作しません。

※ 設置の状況によっては台形ひずみを完全に補正できない場合があります。その場合は手動で補正してください。



同時に3つの機能を「オフ」に設定できません。

たとえば、「オートインプット」と「オートキーストーン」を「オフ」にしたときは、「オート PC」は選択できなくなり、自動的に「オン」に設定されます。


オートキーストーン



バックグラウンド

画像の再生前や中断時といった、信号がないときの背景画面（青 / ユーザー / 黒）を選択します。

「バックグラウンド」を選択して [OK] ボタンを押すと △▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。




- ※「ユーザー」はキャプチャー機能（ 70 ページ）で取り込んだ画像を表示します。
- ※ キャプチャー画像が無いときは、「ユーザー」を選択できません。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択します。

「オンスクリーン表示」を選択して [OK] ボタンを押すと △▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。

オフ …… 下記以外の画面表示は行ないません。

- ・メニュー表示 ( 43 ページ)
- ・電源を切るときの、「もう 1 度押すと電源が切れます」の表示
- ・P-TIMER のカウント表示 ( 40 ページ)
- ・オート PC の「しばらくお待ち下さい」の表示
- ・パワーマネージメントモード時のカウント表示
- ・画面サイズが大きいつきに表示される「△」( 58 ページ)

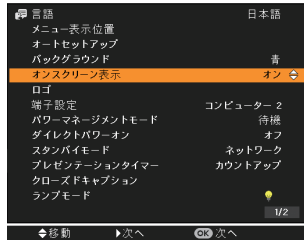
カウントダウンオフ

- … ランプ点灯後 30 秒のカウントダウンを表示せず、すぐに投写します。
投写画面が少し暗くても早く映像を映したいときに選択します。

オン …… すべての画面表示を行ないます。

ある程度投写画面が明るくなってから映像を映したいときに選択します。

オンスクリーン表示



ロゴ

ロゴの選択、画面のキャプチャー、ロゴへの暗証番号の設定をします。

- ① [OK] ボタンを押すと、サブメニュー2が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。

※ 「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のときは、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。

ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択できます。

「ロゴ選択」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。

オフ …… ロゴを画面に表示しません。

ユーザー …… キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定 …… 工場出荷時の設定を表示します。

※ キャプチャー機能（下記参照）で取り込んだ画像がないときは「ユーザー」は選択できません。

キャプチャー

投写している画面を静止画像として取り込むことができます。取り込んだ画像は、「ロゴ選択」でスタートアップロゴに、あるいは「バックグラウンド」で背景画面に設定できます。

手順

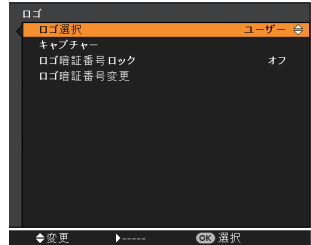
1 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせ、[OK] ボタンを押すと、「OK ?」の確認画面が表示されます。

はい …… 画像の取り込みを実行します。

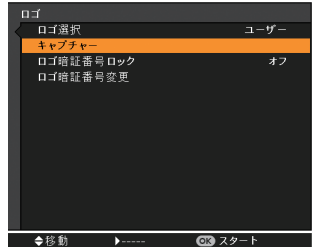
いいえ …… キャプチャーを取り消します。

2 「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと取り込みを始めます。取り込み中は取り込みの進行を示すパーが表示されます。取り込みを途中でやめる場合には「戻る?」の「はい」を選択して [OK] ボタンを押します。

ロゴ選択



キャプチャー



[OK] ボタン



「はい」で取り込みを実行



⚠️ ご注意

「戻る?」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像も削除されます。

- ※「ユーザー」に保存できるのは1画面のみです。再度キャプチャーを行なうとデータが上書きされます。
- ※無信号時には、「キャプチャー」は動作しません。
- ※適切な画面を取り込むために、「画質モード」は「スタンダード」を選択しておいてください。
- ※画像を取り込むときは「キーストーン」と「カスタム」の調整が一時的に解除されます。
- ※キャプチャー中は一時的に消音になります。
- ※キャプチャー機能が使えるのは以下の信号のときだけです。パネルサイズ注)以下(ただし、「画面領域H」を水平解像度+1以上、「画面領域V」を垂直解像度+1以上に設定すると不可)

注) LV-7290/7295/7390
解像度 1024 × 768 ドット
LV-8225
解像度 1280 × 800 ドット

ロゴ暗証番号ロック

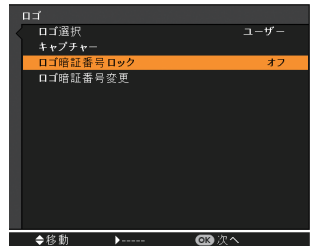
「ロゴ」の設定・変更を、暗証番号を持つ管理者以外できなくします。以下のモードを選択できます。

- オフ** …… 暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。
- オン** …… 暗証番号を入力しないと、「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。

手順

- 1 「ロゴ暗証番号ロック」を選択し、[OK] ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
 - ※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面が表示されます。
- 2 現在設定されている暗証番号を入力します。
 - ※次ページの「暗証番号の入力方法」(1～2の項目)を参照してください。
- 3 暗証番号が承認されるとサブメニュー2に戻ります。
- 4 [ポイント] ボタンの上下で「オン」「オフ」を切り換えます。

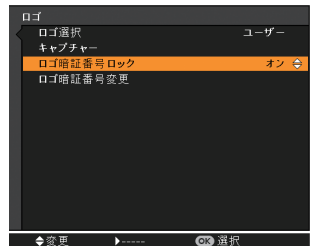
ロゴ暗証番号ロック



[OK] ボタン



暗証番号を入力して承認



ロゴ暗証番号ロックのオン/オフを切り換える

暗証番号の入力方法

- 1 「ポイント」ボタンの上下で0～9の数字を選択し、「ポイント」ボタン右でポインタを2けた目に移動します。(1けた目の表示が「*」に変わります)この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 2 4けた全ての数字を入力したらポインタを「ポイント」ボタン右で「セット」に移動します。
- 3 「OK」ボタンを押すと「はい」、「いいえ」の表示が現れます。
- 4 「ポイント」ボタンの上下で「はい」を選択して「OK」ボタンを押します。

- ※ 工場出荷時のロゴ暗証番号の数字は、「4321」です。
- ※ 数字の入力をやり直したいときは、「ポイント」ボタン左右でやり直したいけたを選択し、「ポイント」ボタン上下で数字を選び直します。
- ※ 「キャンセル」にポインタを合わせて「OK」ボタンを押すと、現在の作業を中止してサブメニュー2に戻ります。
- ※ 「ロゴ暗証番号」と入力した数字(見た目は「*」)が赤く表示された場合には、入力エラーが発生しています。

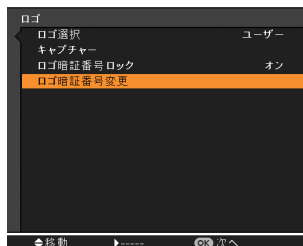
ロゴ暗証番号変更

ロゴの暗証番号を変更します。

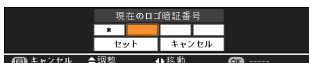
手順

- 1 「ロゴ暗証番号変更」を選択し、「OK」ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 2 現在設定されている暗証番号を入力します。
 - ※ 上記の「暗証番号の入力方法」を参照してください。
- 3 暗証番号が承認されると「新ロゴ暗証番号」の画面が表示されます。
- 4 「新ロゴ暗証番号」に、変更後の新しい暗証番号を入力します。
 - ※ このときは暗証番号の承認時と異なり、入力した数字が見えます。変更後の数字をはっきり確認していただけるように数字を見せています。
- 5 新しい暗証番号を入力したらポインタを「ポイント」ボタン右で「セット」に移動し、「OK」ボタンを押して決定します。
- 6 「OK？」の確認メニューが表示されますので、「ポイント」ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて「OK」ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

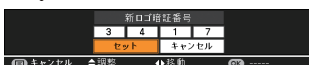
ロゴ暗証番号変更



↓
[OK] ボタン



↓
現在の暗証番号を
入力して承認



↓
新しい暗証番号を入力



「はい」で新しい暗証番号の
登録完了

☀️ メモ

この機能の操作をやめるときは [ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、[OK] ボタンを押してサブメニュー 2 に戻ります。

端子設定

「コンピューター 2」の端子を、D-sub 入力またはモニター出力のいずれで使用するか選択します。

「端子設定」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。

※「入力」で「コンピューター 2」を選択しているときは設定を変更できません。

パワーマネージメントモード

パワーマネージメント機能の動作設定を行ないます。

- ① 「パワーマネージメントモード」を選択して [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で設定する項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。

待機 …… 設定された時間が経つとランプが消灯し、ランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると [POWER] インジケータが緑の点滅を始めます。このときに信号が入力されたりプロジェクターが操作されると、ランプが点灯して画像が投写されます。

終了 …… 設定された時間が経つとランプが消灯して電源が切れます。

オフ …… パワーマネージメント機能を解除します。

パワーマネージメントモード



ランプ消灯までの時間

入力信号なし
04 : 50



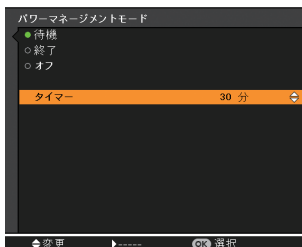
タイマーの設定

1～30分の範囲で設定できます。

「タイマー」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で数値を変更します。

- ※ 工場出荷時は、動作が「待機」、タイマーが「5分」に設定されています。
- ※ 「FREEZE」(F 39 ページ) および「BLANK」(F 40 ページ) が働いているときは、パワーマネージメントモードは動作しません。
- ※ パワーマネージメントモードが働くと、「P-TIMER」(F 40 ページ) はリセットされます。

タイマーの設定



ダイレクトパワーオン

AC 電源コードの接続と同時にプロジェクターの電源が入るように設定します。

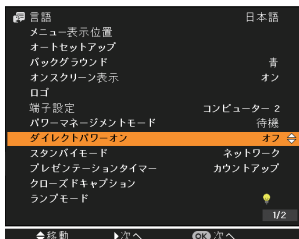
「ダイレクトパワーオン」を選択して [OK] ボタンを押すと、△▽が表示されますので [ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。

オフ …… 通常の電源の入り・切りを行いません。
AC 電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの [POWER] ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

オン …… AC 電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

ダイレクトパワーオン



スタンバイモード

待機中の消費電力の設定をする機能です。通常は「エコ」で使用してください。

「スタンバイモード」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。

エコ …… 待機中の消費電力を抑えることができます。

※ スタンバイ時に、ネットワークからプロジェクトターの電源を入れられません。電源オン後は、ネットワークから制御可能になります。

ネットワーク

…… 待機中の消費電力が「エコ」よりも大きくなります。

※ スタンバイ時に、ネットワークからプロジェクトターの電源を入れられます。

プレゼンテーションタイマー

プレゼンテーションタイマーの起動・終了を行ないます。また、タイマーに関する設定を行ないます。

- ① [OK] ボタンを押すと、サブメニュー2が表示されます。
- ② [ポイント] ボタン上下で項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。

カウントアップ

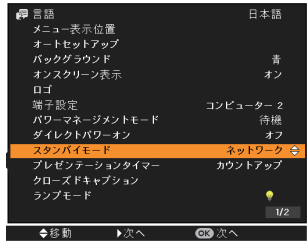
経過時間を 000 分 00 秒からカウントアップします。000 分 00 秒から最長 180 分 00 秒まで経過時間を表示します。

カウントダウン

経過時間を設定した時間からカウントダウンします。時間は「タイマー」で設定します。

※ カウントアップ・カウントダウン実行中に、モードまたはタイマーが変更された場合は、実行中のカウントアップ・カウントダウンはリセットされ、即座に変更が反映されます。

スタンバイモード



※エコ設定時の制限事項

「エコ」設定時は、以下の機能が制限されます。

- ・シリアルコマンド制御
- ・ネットワーク機能
- ・モニター出力
- ・スタンバイマイク機能

プレゼンテーションタイマー



タイマー

「カウントダウン」の時間を設定します。1～180分の間の1分単位で設定できます。

[OK] ボタンを押すと、△▽がサブメニューに表示されますので、[ポイント] ボタン上下で数字を変更します。

※ 工場出荷時は10分に設定されています。

※ 「カウントアップ」選択時はグレーで表示され設定できません。

スタート

[OK] ボタンを押すと、メニューが消えてタイマー時計が表示され、カウントアップまたはカウントダウンが実行されます。

ストップ

プレゼンテーションタイマー実行中にメニュー画面を表示したときに「スタート」から切り換わって表示されます。プレゼンテーションタイマーの時間を一時停止することができます。

- ① [ポイント] ボタンの上下で選択し、[OK] ボタンで決定します。
- ② 停止中のタイマー時計を約3秒間表示した後、自動的にメニュー画面に戻ります。「ストップ」は「再スタート」に切り換わります。

再スタート

「ストップ」で止めたプレゼンテーションタイマーを再開します。

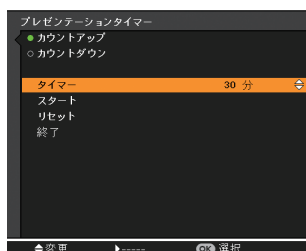
- ① [ポイント] ボタンの上下で選択し、[OK] ボタンで決定します。
- ② タイマーが再開され、タイマー時計が再度表示されます。なお、「再スタート」は「ストップ」に切り換わります。

リセット

実行中のカウントをリセットします。

- ① [ポイント] ボタン上下で選択し、[OK] ボタンで決定します。
- ② カウントしていた時間がリセットされます。カウントアップは「000:00」に、カウントダウンはタイマー設定時間に戻ります。なお、「ストップ」および「再スタート」は、「スタート」に切り換わります。

タイマーの設定



終了

実行中のプレゼンテーションタイマーを終了します。

- ① [ポイント] ボタン上下で選択し、[OK] ボタンで決定します。
- ② 実行中のプレゼンテーションタイマーが終了し、サブメニュー画面に戻ります。

クローズドキャプション

クローズドキャプション（字幕）の表示の選択と、表示色を設定します。

- ① 「クローズドキャプション」を選択して [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと、サブメニュー2が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で設定する項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。

クローズドキャプション

クローズドキャプションの表示（オフ/CC1/CC2/CC3/CC4）を選択します。なお、「オフ」に設定するとクローズドキャプションは表示されません。

「クローズドキャプション」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。

カラー

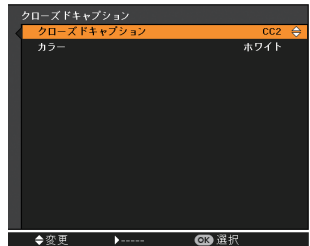
クローズドキャプションの表示色（カラー/ホワイト）を設定します。

「カラー」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で選択します。

<クローズドキャプションのご注意>

- ※ 工場出荷時は「オフ」、「カラー」に設定されています。
- ※ この機能は、入力信号がコンポジット、S-ビデオまたはCOMPONENTで、かつシステムがAuto、NTSCまたは480iのときだけ使用できます。
- ※ システムがAutoであっても、NTSCあるいは480i以外の信号の場合は使用できません。
- ※ メニュー画面などが表示されているときには、クローズドキャプションは表示されません。

クローズドキャプション



ランプモード

ランプの明るさを「ハイモード」「ノーマルモード」、「エコモード」の3段階で設定できます。ご使用環境に合ったモードを選択してください。

「ランプモード」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。



ハイモード …… もっとも明るい設定です。



ノーマルモード …… ハイモードとエコモードの中間の明るさです。



エコモード …… 明るさ（ランプの消費電力）を抑えます。また、ファンの回転数が低くなります。

※「ハイモード」と「ノーマルモード」は調光回路が働き、入力信号に応じて明るさを自動調整します。

※ 消費電力を抑えたいときには「エコ」モードをおすすめします。

リモコンコード

本機は2種類の異なるリモコンコードで操作することができます。工場出荷時は「コード1」に設定されており、2台目のプロジェクター用（拡張用）として「コード2」に設定することができます。本機を2台で使用する場合、リモコンコードを別々に設定しておくことで誤動作を防止できます。

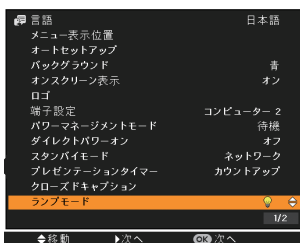
- ① 「リモコンコード」を選択して [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと、サブメニュー2が表示されます。
- ② [ポイント] ボタン上下で選択し、[OK] ボタンで決定します。

コード1 …… 1台目のプロジェクター用に使用します。

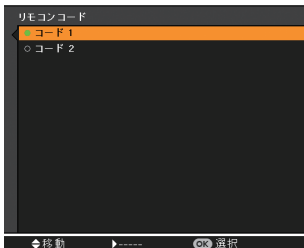
コード2 …… 2台目のプロジェクター用（拡張用）に使用します。

※ プロジェクター本体のコードを「コード2」に設定したときは、リモコン本体のコードも「コード2」に設定する必要があります。☞ 22ページ

ランプモード



リモコンコード



セキュリティ

操作ボタンのロックや、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。




- ① 「セキュリティ」を選択して [OK] ボタンを押すとサブメニュー 2 が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下でサブメニュー 2 の項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。

キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

- ① 「キーロック」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。
- ② [OK] ボタンを押して決定すると「OK？」の確認画面が表示されます。
- ③ 「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと登録が完了します。「いいえ」を選択して [OK] ボタンを押すと登録を中止し、サブメニュー 2 に戻ります。

※ △▽の表示で設定を切り換える場合、通常は [ポイント] ボタン上下で設定を切り換えた時点で設定が完了しますが、「キーロック」については、設定を切り換えた後、[OK] ボタンを押して決定する必要があります。

-  … キーロックは「オフ」の状態です。
-  … 操作パネルでの操作をロックします。
-  … リモコンの操作をロックします。

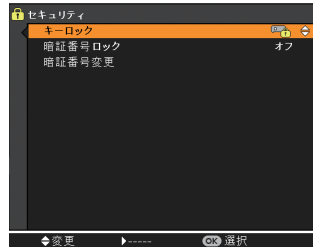
※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。以下のモードを選択できます。

- オフ** … 「暗証番号ロック」を解除します。通常の操作をすることができます。
- オン1** … 電源を入れるときに暗証番号が要求されます。

キーロック



手順 2 ……一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。電源コードを抜くと、次に電源を入れたときに暗証番号が要求されます。電源コードを抜かずに、リモコンまたは操作パネルの [I/O POWER] ボタンで電源の入・切をする場合には、暗証番号は要求されません。

手順

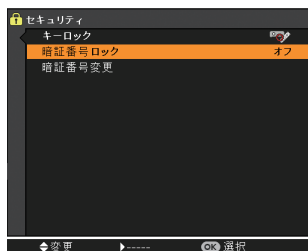
- 1 「暗証番号ロック」を選択し、[OK] ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
※ 「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面が表示されます。
- 2 現在設定されている暗証番号を入力します。
※ 下記の「暗証番号の入力方法」(1～2の項目)を参照してください。
- 3 暗証番号が承認されると、サブメニュー2に戻り、「暗証番号ロック」の設定を切り換えることができます。
- 4 [ポイント] ボタンの上下で設定を切り換えます。
※ 「オン1」「オン2」のいずれかを選択すると、メニュー左下に鍵のアイコンが表示され、暗証番号ロックが掛かっていることをお知らせします。

暗証番号の入力方法

- 1 [ポイント] ボタンの上下で0～9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポインタを2けた目に移動します。(1けた目の表示が「*」に変わります。)この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 2 4けた全ての数字を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動します。
- 3 [OK] ボタンを押すと「はい」「いいえ」の確認表示が現れます。
- 4 [ポイント] ボタンの上下で「はい」を選択して [OK] ボタンを押します。

※ 工場出荷時の暗証番号の数字は「1234」です。
※ 数字の入力をやり直すときは、[ポイント] ボタンの左下で入力し直したいけたを選択し、[ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。

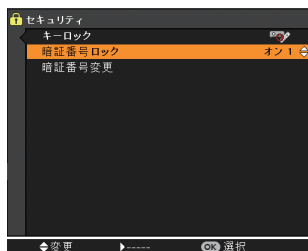
暗証番号ロック



[OK] ボタン



暗証番号を入力して承認



暗証番号ロックの設定を切り換えます



暗証番号ロックの「オン1」「オン2」いずれかが選択されていることを表しています。

次ページへ

前ページから

- ※ 「キャンセル」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押すと現在の作業を中止し、サブメニュー 2 に戻ります。
- ※ 「セット」を選択して [OK] ボタンを押したときに「暗証番号」と入力した数字(見た目は「*」)が赤く表示された場合には、入力エラーが発生しています。

暗証番号変更

暗証番号を変更します。

手順

- 1 「暗証番号変更」を選択し、[OK] ボタンを押します。暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 2 現在設定されている暗証番号を入力します。
※ 前ページの「暗証番号の入力方法」を参照してください。
- 3 暗証番号が承認されると「新暗証番号」の画面が表示されます。
- 4 「新暗証番号」に、変更後の新しい暗証番号を入力します。
※ このときは暗証番号の承認時と異なり、入力した数字が見えます。変更後の数字をはっきり確認していたできるように数字を見せています。
- 5 新しい暗証番号を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動し、[OK] ボタンを押して決定します。
- 6 「OK ?」の確認メニューが表示されますので、[ポイント] ボタンの上下で「はい」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押します。新しい暗証番号が登録されます。

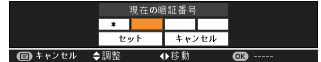
☀️ メモ

- この機能の操作をやめるときは [ポイント] ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、[OK] ボタンを押してサブメニュー 2 に戻ります。

暗証番号変更



☰ [OK] ボタン



☰ 現在の暗証番号を入力して承認



☰ 新しい暗証番号を入力



「はい」で新しい暗証番号の登録完了

ファン

電源を切ったときの冷却ファンの回転動作を切り換えることができます。

「ファン」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。

- L1** …… 自動でファンの回転速度を調整します。ファンの音は「L2」より大きくなります。電源を切ったとき、冷却のためにファンの回転速度が上昇し、投写時よりもファンの音が気になるときがあります。
- L2** …… ファンの回転速度を投写時と同じに調整し、ファンの音が大きくなりないようにします。ただし、「L1」よりファンの停止に時間がかかります。

※ 工場出荷時は「L2」に設定されています。

ファン制御

プロジェクターの設置場所（高地での使用）などによって、冷却ファンの回転動作を切り換えます。

「ファン制御」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。

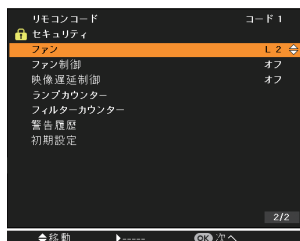
- オフ** …… 通常の回転速度です。
- オン1** …… 海拔約 1200m を越える場所で使用するときに設定します。
- オン2** …… 「オン1」で有効な冷却効果が得られないときに設定します。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

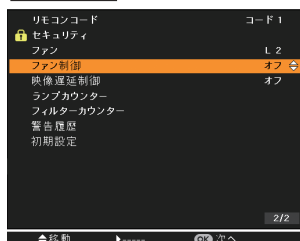
※ ファンの音は、「オフ」→「オン1」→「オン2」の順で大きくなります。

※ これらの設定が適切でないと、プロジェクターの寿命を縮めるほか、故障の原因にもなります。

ファン



ファン制御



映像遅延制御

投写された映像のデジタル処理をより速くしたいとき、「オン」に設定します。

- ※ 映像遅延処理をしないときは「オフ」を選択してください。工場出荷時は「オフ」に設定されています。
- ※ 「オン」に設定すると「画質の調整 (C/F 53～56 ページ)」の「プログレッシブ」と「ノイズリダクション」は、グレーで表示され選択できなくなります。

ランプカウンター

ランプ使用時間の表示とリセットを行いません。

- ① 「ランプカウンター」を選択して [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [ポイント] ボタン上下で選択し、[OK] ボタンで決定します。

ランプカウンター

ランプの実使用時間が表示されます。ランプ交換推奨時間に達すると、ランプカウンターの時間表示が赤色に変わります。

ランプカウンターリセット

ランプカウンターをリセットします。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると「ランプ交換」のお知らせ表示が消えます。

- ① 「ランプカウンターリセット」を選択して [OK] ボタンを押すと「ランプカウンターリセット？」の確認画面が表示されます。
 - ② 「はい」を選択して [OK] ボタンを押します。
 - ③ 「OK ?」の確認画面が表示されます。「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと、カウンターがリセットされ、サブメニュー 2 に戻ります。
- ※ 「いいえ」に合わせて [OK] ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。



注意

ランプ交換を行なったとき以外はリセットしないでください。

ランプカウンターリセット



[OK] ボタン



確認画面で「はい」



「OK?」の確認画面で「はい」を選択してリセット完了

フィルターカウンター

エアフィルターに関する設定や使用時間のリセットを行ないます。

- ① 「フィルターカウンター」を選択して [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [ポイント] ボタン上下で選択し、[OK] ボタンで決定します。

フィルターカウンター

使用時間を表示します。また、「タイマー」で設定した時間を越えると、フィルターカウンターの時間表示が赤色に変わります。

タイマー

エアフィルターの交換時期を知らせる表示を表示させるまでの時間を設定します。(オフ /2000 時間 /3000 時間 /4000 時間)

「タイマー」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えます。

フィルターカウンターリセット

フィルターカウンターをリセットします。
エアフィルター交換後は、必ずフィルターカウンターをリセットしてください。リセットすると「フィルター警告」のお知らせ表示が消えます。

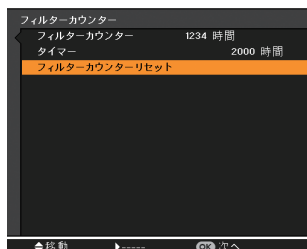
- ① 「フィルターカウンターリセット」を選択して [OK] ボタンを押すと「フィルターカウンターリセット？」の確認画面が表示されます。
- ② 「はい」を選択して [OK] ボタンを押します。
- ③ 「OK ?」の確認画面が表示されます。「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと、カウンターがリセットされ、サブメニュー 2 に戻ります。
※「いいえ」に合わせて [OK] ボタンを押すと、サブメニュー 2 に戻ります。



エアフィルターの交換を行なったとき以外はリセットしないでください。

注意

フィルターカウンターリセット



[OK] ボタン







エアフィルターの交換時期をお知らせする画面表示について



投写中にエアフィルターの交換推奨時間になったとき、画面右上に表示されます。
(約 10 秒間表示)

その後、下記の操作をしたときにも表示されます。

- 電源を入れたとき (約 4 秒間表示)
- 「入力」を切り換えたとき (約 4 秒間表示)

※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」( 69 ページ) に設定しているとき、または「FREEZE」、
「BLANK」( 39、40 ページ) が動作中のときは表示されません。

※ 「フィルターカウンター」をリセットすると、このお知らせ表示が消えます。

警告履歴

プロジェクターが表示した警告が表示されます。最新のものから 10 件表示されます。

「警告履歴」を選択して [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと警告履歴が表示されます。

※ 履歴が 10 件を超えると履歴の古いものから削除されます。

※ 「初期設定」を実行すると、全て削除されます。

初期設定

下記以外の設定を、工場出荷状態に戻します。

- ランプカウンター（使用時間）
- ログ暗証番号ロック
- 暗証番号ロック
- ユーザーロック
- フィルターカウンター（使用時間、タイマー）

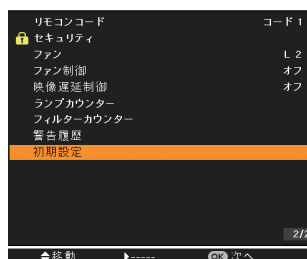
（手順）

- ① 「初期設定」を選択して [OK] ボタンを押すと「初期設定へ戻しますか？」の表示が現れます。
 - ② 「はい、いいえ」の確認画面で「はい」を選択して [OK] ボタンを押します。
 - ③ 「OK ?」の確認画面が表示されます。「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと、設定が工場出荷時に戻ります。
- ※ 「いいえ」に合わせて [OK] ボタンを押すと、サブメニューに戻ります。

!! ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態に戻ります。

初期設定



[OK] ボタン



キーロックを解除したいときや、「ログ暗証番号ロック」「暗証番号ロック」の暗証番号がわからなくなったとき

いったん電源コードを AC コンセントから抜き、[OK] ボタンを押しながら電源プラグを AC コンセントに差し込み、プロジェクターの電源を入れます。このとき、「POWER」インジケーターが点灯するまで、[OK] ボタンを押し続けてください。

- 「キーロック」は解除されます。
- 「ログ暗証番号ロック」「暗証番号ロック」は、それぞれ工場出荷時の暗証番号に戻ります。工場出荷時の暗証番号は以下のとおりです。

「ログ暗証番号ロック」… 4321

「暗証番号ロック」… 1234

保守とお手入れ

ランプの交換

[LAMP REPLACE] インジケータと [ランプ交換] 表示について

[LAMP REPLACE] インジケータ（黄）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したときは、ランプをすみやかに交換してください。ランプを交換するまで電源「ON(入)」のときに点灯します。なお、点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。また、画面右上に現れる「ランプ交換」表示でもランプ交換時期をお知らせします。右図の「ランプ交換」が表示されたら、すみやかにランプを交換してください。



※ 画面表示は約 10 秒間です。

※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」にしているときは表示されません。

ランプ交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行ないます。かならず指定のランプハウスを取りつけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、次のことをお知らせください。

- 交換ランプの品番：LV-LP35
- プロジェクターの品番：LV-7290/7295/7390/8225

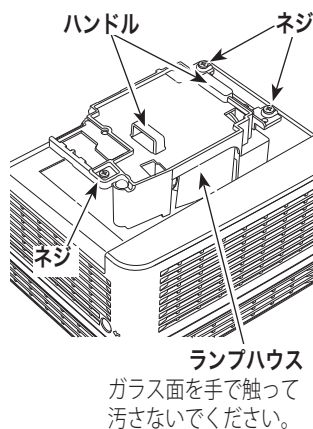
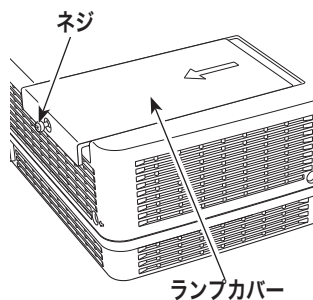


動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、1 時間以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあります。

ランプの交換 (つづき)

手順


- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。かならず1時間以上放置してください。
- 2 (+) ドライバーで1本ネジをゆるめ、ランプカバーをはずします。
- 3 ランプハウスの3本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、3本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。



ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後はかならずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると [LAMP REPLACE] インジケータ (黄) の点灯、および「ランプ交換」表示が消えます。

ランプカウンターのリセットのしかたは、「設定」メニュー内の「ランプカウンター」を参照してください。

 83 ページ



ランプが点灯しなくなって交換するときのご注意

ランプが点灯しなくなってから交換するときは、ランプが破裂しているおそれがあります。

とくに、天井から吊り下げてご使用中にランプを交換するときは、ランプカバーの真下に立たずに、横から作業するようにしてください。ランプカバーもそっと取りはずしてください。ランプカバーをはずすときにガラスの破片が落ちてくる可能性があります。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

※ 14 ページの「ランプについての安全上のご注意」もご参照ください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが附着しないよう、レンズキャップをはめ、ケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

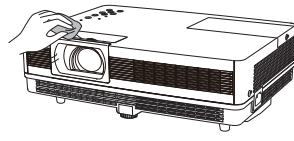
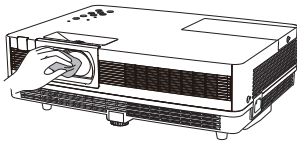
キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。



お保守
手入れ

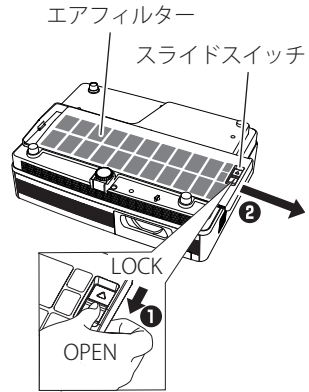
⚠ 警告

可燃性の溶剤やエアースプレーをプロジェクターやその近くで絶対に使用しないでください。ランプの点灯により製品内部は非常に高温になっているため、電源を抜いた後でも、爆発・火災が発生することがあります。また、可燃性のエアースプレーでなくても、冷気により内部部品が故障するおそれがあります。

エアフィルターの交換

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルター周辺の吸気口は、こまめに掃除してください。☞ 12ページ

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。エアフィルターの交換はかならず電源を切ってから行ってください。
- 2 スライドスイッチを「OPEN」の位置にスライドし、エアフィルターを矢印の方向に引っ張って取り外します。
- 3 新しいエアフィルターを取り付け、スライドスイッチを「LOCK」の位置にスライドします。
- 4 プロジェクターの電源を入れ、フィルターカウンターをリセットします。☞ 84ページ




※ 「設定」メニューの「フィルターカウンター」の「タイマー」で設定した時間を超えてエアフィルターを使用すると、「エアフィルターの交換時期をお知らせする画面表示」が表示されますので、このときエアフィルターを交換してください。
☞ 84、85ページ



ご注意

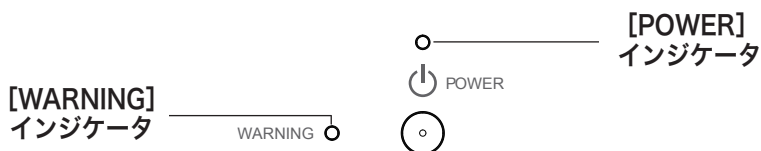
新しいエアフィルターを取り付ける時は、ガイドに沿ってスライドさせ、エアフィルターが完全に挿入されていることを確認してください。

・交換用エアフィルターのサービス部品番号：DY5-2324-000

 **エアフィルターについてのご注意**

- **エアフィルターは再利用できません。**
エアフィルターの掃除などをして、再利用しないでください。使い終わりましたら、すみやかに新しいものと交換してください。
- **エアフィルターは水洗いできません。**
エアフィルターが水などで濡れないようにご注意ください。故障の原因となります。
- **エアフィルターの交換は電源が入っていないときに行なってください。**
- **エアフィルター交換後、「フィルターカウンターリセット」を忘れずに行なってください。**
- **エアフィルターはていねいに扱ってください。**
エアフィルターに穴があいたり、破れたりするとフィルター効果が損なわれます。
- **エアフィルターの穴から内部へ、ものを差し込まないでください。**
内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- **エアフィルターを取りはずした状態でプロジェクターを使用しないでください。**
液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。

内部温度の上昇について



[WARNING] インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると [WARNING] インジケータ が赤く点滅し、保護のために自動的に電源が切れ、[POWER] インジケータが赤く点滅します。([WARNING] インジケータも点滅を続けます。) 温度が下がると [POWER] インジケータが赤く点灯し、リモコンおよび本体の [POWER] ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると [WARNING] インジケータの点滅が消えます。[WARNING] インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

- エアフィルター付近にホコリがたまっていませんか。エアフィルター付近を掃除してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～35℃)
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。

電源を入れるときは、[POWER] インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び [WARNING] インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、[WARNING] インジケータが点灯しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、[WARNING] インジケータが点灯 (赤) を始めます。このとき、リモコンおよび操作パネルの [POWER] ボタンでの「電源入り・切り」はできなくなります。このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れなおし、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、[WARNING] インジケータが点灯する場合、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。

また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間で使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータ				プロジェクターの状態
POWER 緑 / 赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄		
正常な動作のとき	●	●	●	電源コードがコンセントから抜けています。
	◐	●	*	プロジェクターはスタンバイ状態です。 [POWER] ボタンを押すと動作します。
	○	●	*	プロジェクターは正常に動作しています。
	◐ [⚡]	●	*	ランプの冷却中です。 [POWER] インジケータが赤の点灯に変わるまで [POWER] ボタンを押して始動することはできません。
	○ [⚡]	●	*	パワーマネージメントモードになっています。 プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。






お保守
入れと
れ

○ … 点灯：緑 ◐ … 点滅：緑 ◐ … 点灯：赤 ◐[⚡] … 点滅：赤
● … 点灯：黄 ● … 消灯

*で表されているインジケータについて

*で表されているインジケータは、他のインジケータがどのような状態のときでも該当のインジケータが点灯・点滅することを意味しています。たとえば [LAMP REPLACE] インジケータが点灯するとき、[POWER] インジケータは点灯・点滅・消灯のいずれの場合もある、ということです。

インジケータ表示とプロジェクターの状態 (つづき)

	インジケータ			プロジェクターの状態
	POWER 緑 / 赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	
内部の温度に異常があるとき			*	プロジェクターの内部温度が高くなっています。 [POWER] ボタンを押しても電源は入りません。 プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、 [POWER] インジケータが点灯 (下記枠内の状態) に変わります。
			*	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。 ([WARNING] インジケータは点滅したままです) [POWER] ボタンを押すと、[WARNING] インジ ケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。 エアフィルターの点検などを行なってください。
内部電源に異常があるとき			*	プロジェクターの内部に異常が検出されました。 [POWER] ボタンを押しても電源は入りません。 一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、 電源を入れ直してください。再び電源が切れ、イン ジケータが点灯するときは、電源コードをコンセント から抜き、点検と修理を修理相談窓口へご依頼く ださい。点灯したままで放置しないでください。火 災や感電の原因となります。
ランプに異常があるとき	*	*		ランプ交換推奨時間に達しました。 また画面右上にも  が表示され交換をお知らせし ます。 速やかにランプを交換してください。[LAMP REPLACE] インジケータが点灯するまでの時間は、 ご使用状況 (ランプコントロールの状態) によって 異なります。

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源・初期設定	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードは接続されていますか。 ● 電源は入っていますか。[⏻ POWER] ボタンを押してみてください。 ● [POWER] インジケータが消えているときは、[⏻ POWER] ボタンを押しても電源が入りません。 ● [WARNING] インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており [⏻ POWER] ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が下がるまでお待ちください。 ● 「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンまたは操作パネルの [⏻ POWER] ボタンを押してみてください。 	28 30 93 92、94 79
	電源を入れたら、暗証番号を要求された	● 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除、または設定の変更は「設定」の「暗証番号ロック」を確認してください。	79～81
オープニング	オープニング画面が出ない	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウン オフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。	69
	オープニング画面が初期設定の画像とちがう	● 「ロゴ選択」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。	70
	入力モードが自動的に切り換わる(切り換わらない)	● 「オートインプット」が「オン2」（または「オン1・オフ」）になっていませんか。「設定」を確認してください。	67
画像・画質	画像が映らない	● コンピューターやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	25～27
		● 電源を入れたあと約 30 秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。（「オンスクリーン表示・オフ」、「カウントダウン・オフ」のときをのぞく）	69
		● レンズキャップを取りましたか。	
		● コンピューターモードのときは、コンピューターのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。	47、48
		● 使用温度範囲（5℃～35℃）からはずれていませんか。	11
		● 「BLANK」モードになっていませんか。リモコンの [BLANK] ボタンを押してみてください。	40




お保守
手入れ

故障かなと思ったら (つづき)

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
画像・画質 (つづき)	画像が映らない (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピューターが外部出力に切り換わっていますか。出力の切替はコンピューターの取扱説明書をご覧ください。 ● コンピューターを再起動してみてください。 	
	画像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 ● スクリーンに対して過度に斜めに投写しているときは、画面に台形ひずみ (あおり) ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 ● レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお手入れをしてください。 	37 23 24 11 89
	画面が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ● 「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていますか。調整してみてください。 ● 「画質モード」が、正しく選択されていますか。「画質選択」メニューを確認してみてください。 ● 「ランプモード」で、「エコモード」が選択されていませんか。「エコモード」は他のモードよりも暗くなります。 ● ランプ交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくにつれじょじょに暗くなる性質があります。[LAMP REPLACE] インジケータ (黄) の点灯と画面表示でランプ交換時期をお知らせします。インジケータの点灯や画面表示が現れたら、新しいランプに交換してください。 	55 53 39、78 87、88
	画像の色がおかしい・色が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、コンピューターのシステムモードは合っていますか。また、「画質の調整」を確認してください。 ● リモコンの [IMAGE] ボタン、または「メニュー」から「画質モード」を確認し、適切な色に調整してください。 	47、48 53 38、53
	逆さまに映っている	<ul style="list-style-type: none"> ● 「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「アスペクト」メニューを確認してください。 	62、63
	画像がゆがんだり切れたりする	<ul style="list-style-type: none"> ● 「PC 調整」や「アスペクト」メニューを確認・調整してください。 	49～52 57～63

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
設定・操作・調整	オート PC が働かない	<ul style="list-style-type: none"> ● 入力信号を確認してください。 ● システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、オート PC 機能ははたらきません。 	99～101
	表示されない機能がある	<ul style="list-style-type: none"> ● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。 	69
	電源を切る前の設定が残っていない	<ul style="list-style-type: none"> ● 項目の調整後に「メモリー登録」を実行しましたか。「メモリー」で登録しないと保存されない項目があります。 	50、54
	「パワーマネジメント」が働かない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「FREEZE」、「BLANK」の動作中は「パワーマネジメントモード」は作動しません。 	
	「キャプチャー」が働かない	<ul style="list-style-type: none"> ● 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。 	25～27
	「コンピューター2」が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「端子設定」が「モニター出力」になっていませんか。「設定」を確認してください。 	73
	選択できないメニューがある	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオ入力画面とコンピューター入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。 	
	オートセットアップが正しく作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定が「オフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。 ● 「天吊り」が「オン」になっていませんか。「設定」を確認してください。 	67 62
	プロジェクターを傾けたのにキーストーンがはたらかない	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作パネルの [AUTO SET] ボタンを押してみてください。 ● 「オートキーストーン」の設定が「手動」になっていませんか。「設定」を確認してください。 	37 68
	自動的に電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場出荷時の設定で「パワーマネジメントモード」機能が設定されています。「設定」を確認してください。 	73
操作パネルで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「キーロック」で操作パネルからの操作をロックしていませんか。リモコンから「設定」を確認してください。 	79	
リモコン	リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池は正しく入っていますか。＋を正しく入れてください。 	21
		<ul style="list-style-type: none"> ● 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。 	21
		<ul style="list-style-type: none"> ● 本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 	22

故障かなと思ったら (つづき)

	こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
リモコン	リモコンで操作できない (つづき)	● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。	22
		● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。	22
		● 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「設定」を確認してください。	79
音声	音が出ない	● コンピューターやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	25～27
		● 音量が最小になっていませんか。[VOLUME +] ボタンを押してみてください。	64
		● 消音状態になっていませんか。[MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME +] ボタンを押してみてください。	64
		● [AUDIO OUT] 端子にプラグがささっていませんか。[AUDIO OUT] 端子にプラグがささっていると内蔵スピーカーから音は出ません。	25～27
		● 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。	25～27
		● 「入力」で選択した信号の映像が投写されていますか。接続していても映像が投写されていなければ音は出ません。接続を確認してください。	25～27
その他	インジケータが点滅・点灯している	● 「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロジェクターの動作を確認してください。	93、94
	キーロックの解除ができない ロゴ暗証番号・暗証番号を忘れた	● 解除方法を確認してください。	86
	ボタンを押したのに、  が表示された	● プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお知らせする表示です。接続や入力信号などを確認してみてください。	
	画面領域の左上に、   <small>ワーニング</small> が表示された	● プロジェクターの内部に異常が検出されました。電源コードをコンセントから抜き、点検と修理を修理相談窓口へご依頼ください。そのまま放置しないでください。火災や感電の原因となります。	

付 録

コンピューターシステムモード一覧

コンピューターの信号がアナログのとき

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。（「カスタムモード 1～5」は含みません。）接続されたコンピューターの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA1	640x480	31.47	59.88
VGA2	720x400	31.47	70.09
VGA3	640x400	31.47	70.09
VGA4	640x480	37.86	74.38
VGA5	640x480	37.86	72.81
VGA6	640x480	37.50	75.00
VGA7	640x480	43.269	85.00
MAC LC13	640x480	34.97	66.60
MAC 13	640x480	35.00	66.67
480p	640x480	31.47	59.88
575p	768x575	31.25	50.00
575i	768x576	15.625	50.00
480i	640x480	15.734	60.00
SVGA1	800x600	35.156	56.25
SVGA2	800x600	37.88	60.32
SVGA3	800x600	46.875	75.00
SVGA4	800x600	53.674	85.06
SVGA5	800x600	48.08	72.19
SVGA6	800x600	37.90	61.03
SVGA7	800x600	34.50	55.38
SVGA8	800x600	38.00	60.51
SVGA9	800x600	38.60	60.31
SVGA10	800x600	32.70	51.09
SVGA11	800x600	38.00	60.51
MAC16	832x624	49.72	74.55
MAC19	1024x768	60.24	75.08
XGA1	1024x768	48.36	60.00
XGA2	1024x768	68.677	84.997
XGA3	1024x768	60.023	75.03
XGA4	1024x768	56.476	70.07
XGA5	1024x768	60.31	74.92

* i

* i

コンピューターシステムモード一覧 (つづき)

コンピューターの信号がアナログのとき (つづき)

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	
XGA6	1024x768	48.50	60.02	
XGA7	1024x768	44.00	54.58	
XGA8	1024x768	63.48	79.35	
XGA9	1024x768	36.00	87.17	* i
XGA10	1024x768	62.04	77.07	
XGA11	1024x768	61.00	75.70	
XGA12	1024x768	35.522	86.96	* i
XGA13	1024x768	46.90	58.20	
XGA14	1024x768	47.00	58.30	
XGA15	1024x768	58.03	72.00	
SXGA1	1152x864	64.20	70.40	
SXGA2	1280x1024	62.50	58.60	
SXGA3	1280x1024	63.90	60.00	
SXGA4	1280x1024	63.34	59.98	
SXGA5	1280x1024	63.74	60.01	
SXGA6	1280x1024	71.69	67.19	
SXGA7	1280x1024	81.13	76.107	
SXGA8	1280x1024	63.98	60.02	
SXGA9	1280x1024	79.976	75.025	
SXGA10	1280x960	60.00	60.00	
SXGA11	1152x900	61.20	65.20	
SXGA12	1152x900	71.40	75.60	
SXGA13	1280x1024	50.00	86.00	* i
SXGA14	1280x1024	50.00	94.00	* i
SXGA15	1280x1024	63.37	60.01	
SXGA16	1280x1024	76.97	72.00	
SXGA17	1152x900	61.85	66.00	
SXGA18	1280x1024	46.43	86.70	* i
SXGA19	1280x1024	63.79	60.18	
SXGA20	1280x1024	91.146	85.024	*1
SXGA +1	1400x1050	63.970	60.190	
SXGA +2	1400x1050	65.350	60.120	
SXGA +3	1400x1050	65.120	59.900	

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	
MAC21	1152x870	68.68	75.06	
MAC	1280x960	75.00	75.08	
MAC	1280x1024	80.00	75.08	
WXGA1	1366x768	48.36	60.00	
WXGA2	1360x768	47.70	60.00	
WXGA3	1376x768	48.36	60.00	
WXGA4	1360x768	56.16	72.00	
WXGA6	1280x768	47.776	59.870	
WXGA7	1280x768	60.289	74.893	
WXGA8	1280x768	68.633	84.837	
WXGA9	1280x800	49.600	60.050	
WXGA10	1280x800	41.200	50.000	
WXGA11	1280x800	49.702	59.810	
WXGA12	1280x800	63.980	60.020	
WUXGA1	1920x1200	74.556	59.885	*1
WUXGA2	1920x1200	74.038	59.950	*1
WSXGA+1	1680x1050	65.290	59.954	*1
WXGA+1	1440x900	55.935	59.887	
WXGA+2	1440x900	74.918	60.000	*1
UXGA1	1600x1200	75.00	60.00	*1
UXGA2	1600x1200	81.25	65.00	*1
UXGA3	1600x1200	87.5	70.00	*1
UXGA4	1600x1200	93.75	75.00	*1
720p	1280x720	37.50	50.00	
720p	1280x720	45.00	60.00	
1035i	1920x1035	33.75	60.00	* i
1080i	1920x1080	33.75	60.00	* i
1080i	1920x1080	28.125	50.00	* i

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ ドットクロックが 140MHz 以上のコンピューターの信号には対応していません。

※ SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080i の信号を投写するときは、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

* i : インターレース信号

* 1 : 「PC 調整」メニュー内で調整できないメニューが生じる場合があります。

メニュー内容一覧



入力

- コンピューター 1
 - ANALOG PC
 - COMPONENT
 - SCART
 - S-VIDEO
- コンピューター 2 — ANALOG PC
- ビデオ



PC 調整

- オート PC
- トラッキング — 0 - 31
- 総ドット数
- 水平位置
- 垂直位置
- コンピューター情報
 - 水平周波数
 - 垂直周波数
- クランプ
- 画面領域 H
- 画面領域 V
- リセット — はい/いいえ
- データ消去 — モード 1 ~ 10
- メモリー — モード 1 ~ 10



画質モード

- プレゼンテーション
- スタンダード
- ハイコントラスト
- シネマ
- 黒 (緑) 板
- カラーボード
 - 赤
 - 青
 - 黄
 - 緑
- ユーザー 1 ~ 4



画質調整

- コントラスト ————— 0 - 63
 - 明るさ ————— 0 - 63
 - 色の濃さ* ————— 0 - 63
 - 色合い* ————— 0 - 63
 - オートアイリス ————— オフ / オン
 - 色温度 ————— 超低 / 低 / 中 / 高 / ユーザー
 - 赤 ————— 0 - 63
 - 緑 ————— 0 - 63
 - 青 ————— 0 - 63
 - 画質 ————— 0 - 15
 - ガンマ補正 ————— 0 - 15
 - ノイズリダクション* — オフ / L1 / L2
 - プログレッシブ* — オフ / L1 / L2 / フィルム
 - リセット ————— はい / いいえ
 - メモリー ————— ユーザー 1 ~ 4
- * ビデオ入力の時のみ表示



アスペクト

- ノーマル
- フル
- 16 : 9
- ズーム
- リアル**
- ビッタリワイド* ❖
- カスタム ————— カスタム調整 —————
 - 水平スケール
 - 垂直スケール
 - H & V
 - 水平位置
 - 垂直位置
 - 共通
 - リセット
- デジタルズーム+**
- デジタルズーム-**
- キーストーン —————
 - キーストーン
 - メモリー ————— メモリー / リセット
- 天吊り ————— オン / オフ
- リア投映 ————— オン / オフ
- スクリーンアスペクト* — 初期設定 (16 : 10) / 4 : 3 / 16 : 9
- リセット ————— はい / いいえ

* ビデオ入力の時のみ表示
 ** PC 入力の時のみ表示
 ❖ モデル LV-8225 のみ表示

メニュー内容一覧 (つづき)



サウンド

- 音量 ————— 0 - 63
- 消音 ————— オン / オフ
- マイク ————— オン / オフ
- マイクゲイン ——— 0 - 63
- スタンバイマイク — オン / オフ



設定

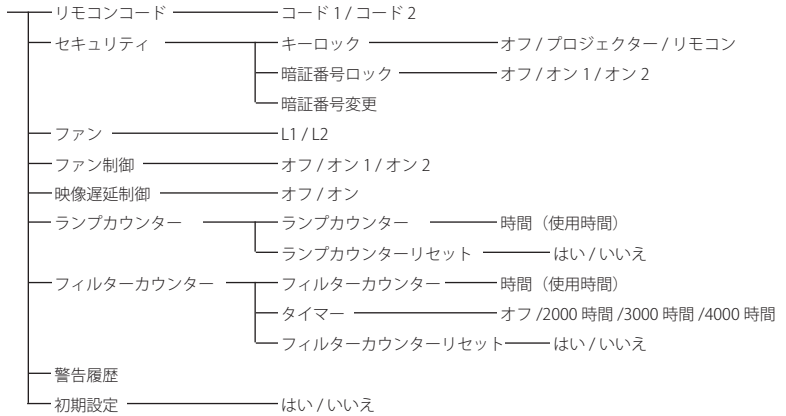
(第一画面)

- 言語 —————
 - 英語 ————— ハンガリー語
 - ドイツ語 ————— ルーマニア語
 - フランス語 ————— ロシア語
 - イタリア語 ————— トルコ語
 - スペイン語 ————— カザフ語
 - ポルトガル語 ————— ベトナム語
 - オランダ語 ————— 中国語
 - スウェーデン語 ——— 韓国語
 - フィンランド語 ——— 日本語
 - ポーランド語 ————— タイ語
- メニュー表示位置 —————
- オートセットアップ ———
 - オートインプット ——— オフ / オン1 / オン2
 - オート PC ————— オン / オフ
 - オートキーストーン — オフ / 手動 / オート
- バックグラウンド ————— 青 / ユーザー / 黒
- オンスクリーン表示 ——— オフ / カウントダウンオフ / オン
- ロゴ —————
 - ロゴ選択 ————— オフ / 初期設定 / ユーザー
 - キャプチャー ————— はい / いいえ
 - ロゴ暗証番号ロック — オン / オフ
 - ロゴ暗証番号変更 ———
- 端子設定 ————— コンピューター 2 / モニター出力
- パワーマネジメントモード — オフ / 待機 / 終了
 - タイマー ————— 分 (1 ~ 30分)
- ダイレクトパワーオン ——— オン / オフ
- スタンバイモード ————— エコ / ネットワーク
- プレゼンテーションタイマー — カウントアップ
 - カウントダウン ——— タイマー (1 ~ 180分)
 - スタート —————
 - リセット —————
 - 終了 —————
- クローズドキャプション ———
 - クローズドキャプション — オフ / CC1 ~ CC4
 - カラー ————— カラー / ホワイト
- ランプモード ————— ハイ / ノーマル / エコ

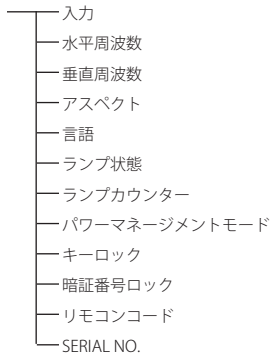


設定

(第二画面)



インフォメーション



仕様

プロジェクター本体

型名	LV-7290	LV-7295	LV-7390	LV-8225
種類	液晶プロジェクター			
表示方式	液晶パネル3枚3原色液晶シャッター方式			
液晶パネル	サイズ:0.55型×3 アスペクト比 4:3		サイズ:0.63型×3 アスペクト比 4:3	
	サイズ:0.59型×3 アスペクト比 16:10			
	駆動方式:ポリシリコンTFTアクティブマトリクス 画素配列:ストライプ			
	画素数:786,432画素(1,024×768)×3枚 総画素数2,359,296画素		画素数: 1,024,000画素 (1,280×800)×3枚 総画素数 3,072,000画素	
投写レンズ	手動ズーム・フォーカス(1～1.2倍) F=2.0～2.15 f=18.38～22.06mm			
光源	215W UHP ランプ			
画面サイズ	40～300型(1.3m～11.8m) 100型:3.3m～3.9m		(1.1m～10.5m) 2.9m～3.5m	(1.2m～11.1m) 3.1m～3.7m
明るさ*1	2200lm	2600lm	3000lm	2500lm
コントラスト比*2	2000:1			3000:1
周辺照度比	85%			
入出力	<p>アナログRGB入力(入力1系統):ミニD-sub15ピン アナログRGB信号:0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期:TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期:0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω)</p> <p>S映像:セパレートYC信号、ミニD-sub15ピン Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C;0.286Vp-p(バースト信号)、インピーダンス75Ω</p> <p>コンポーネント:セパレートY/Cb/Pb/Cr/Pr信号、ミニD-sub15ピン Y;1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Cb/Pb;0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Cr/Pr;0.7Vp-p、インピーダンス75Ω</p>			
COMPUTER IN 2	<p>アナログRGB入力(入力1系統):ミニD-sub15ピン アナログRGB信号:0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期:TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期:0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω)</p>			
MONITOR OUT	アナログRGB出力(出力1系統):ミニD-sub15ピン			
VIDEO IN	映像:ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω			

プロジェクター本体 (つづき)

型名	LV-7290	LV-7295	LV-7390	LV-8225
音声				
AUDIO IN	ミニジャック (ステレオ)、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上			
AUDIO OUT	ピンジャック (ステレオ)、400mVrms、インピーダンス 47K Ω以上 (左モノ:右) (コンピューター/ビデオ兼用): ミニジャック (ステレオ)、可変出力、インピーダンス 1K Ω以下			
制御入出力、他	コントロールポート: D-sub 9 ピン			
	LAN 端子: RJ-45			
音声出力	モノラル 10W (JEITA)			
スピーカ	3.7 cm 円形 1 個			
入力対応 走査周波数	水平 15k ~ 100kHz、垂直 50 ~ 100Hz ドットクロック 140MHz 以下 G on Sync 対応			
カラーシステム	6 システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)			
使用環境温度	5°C ~ 35°C			
保存温度	-10°C ~ 60°C			
電源	AC100V 50/60Hz			
消費電力	194W/233W/266W (ランプモード: エコ/ノーマル/ハイ)	195W/265W/286W (ランプモード: エコ/ノーマル/ハイ)		
待機中消費電力	0.4W/6.6W (スタンバイモード: エコ/ネットワーク)			
本体寸法	幅 333.5 × 高さ 101.0 × 奥行 247.0 mm (突起物を含まず)			
質量	2.98 Kg			

*1 ランプモード: ハイ、画質モード: プレゼンテーション時

*2 ランプモード: ハイ、画質モード: プレゼンテーション、オートアイリス: オン時

リモコン

電源	DC3.0V 単 4 形乾電池 2 本使用
到達距離	約 5m (受光部正面)
本体寸法	幅 52.0 × 高さ 18.0 × 奥行 110.0mm
質量	67.0g (電池を含む)

付属品

- リモコン (MXCP) 1 個
- リモコン用乾電池 (単 4 形) 2 本
- 電源コード 1 本
- 電源プラグアダプタ 1 個
- コンピューターケーブル (D-sub 用) 1 本
- 使用説明書 2 冊 (本紙、別冊)
- 保証書
- レンズキャップ 1 個
- レンズキャップ用ひも 1 本
- フェライトコア 1 個
- フィルターカバー 1 個
- PIN コードラベル 1 枚

別売品

- ランプ 品番 : LV-LP35
- D-sub / コンポーネント ケーブル 品番 : LV-CA32
- D-sub / S ビデオ ケーブル 品番 : LV-CA33
- ソフトキャリングケース 品番 : LV-SC01
- リモコン 品番 : LV-RC03
- 天吊金具用ベース金具 品番 : LV-CL17
- 低天井用天吊金具 品番 : LV-CL18
- 高天井用天吊金具 品番 : LV-CL19

※ 高調波電流規格 JIS C 61000-3-2:2005 適合品

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投写中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。

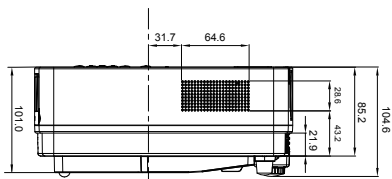
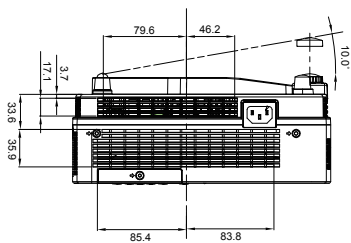
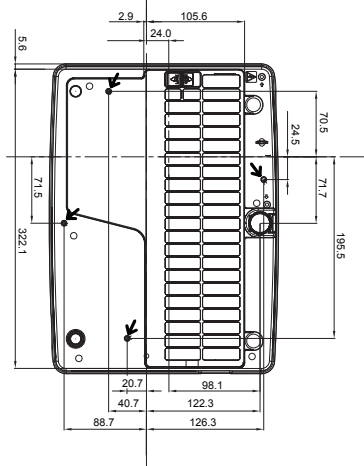
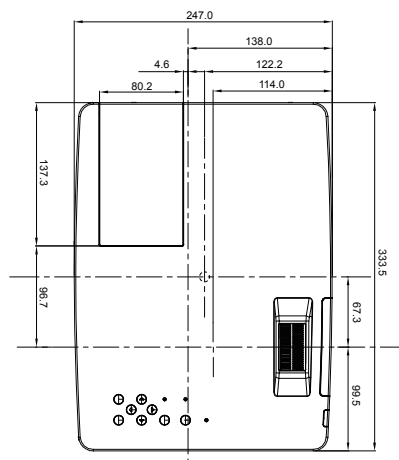
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。

※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

寸法図

単位：mm

▼
天吊り金具用のビス穴
ビス径：M4
深さ：12mm

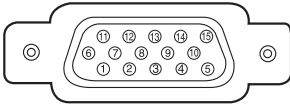


端子の仕様

COMPUTER IN 1/2/COMPONENT IN/S-VIDEO IN/MONITOR OUT (コンピューター入力/コンポーネント入力/S映像入力/モニター出力端子)

コンピューター入力・S映像入力・コンポーネント入力・モニター出力の入出力端子として動作します。接続には、コンピューター接続ケーブル(D-sub用)、D-sub/コンポーネントケーブル、D-sub/Sビデオケーブルを使用します。

ミニ D-sub15 ピン

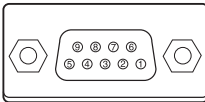


1	R/Cr/S-C 入出力	9	+ 5V パワー / 未接続
2	G/Y/S-Y 入出力	10	接地 (垂直同期)
3	B/Cb/ 未接続 入出力	11	接地
4	未接続	12	DDC データ / 未接続
5	接地 (水平同期)	13	水平同期 入出力 (コポジット: 水平垂直同期)
6	接地 (R)		
7	接地 (G)	14	垂直同期 入出力
8	接地 (B)	15	DDC クロック / 未接続

CONTROL PORT (コントロールポート端子)

シリアルでコンピューター機器からプロジェクターを操作するとき、コンピューター機器との接続に使用する端子です。

D-sub 9 ピン

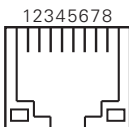


1	未接続	6	未接続
2	RXD	7	未接続
3	TXD	8	未接続
4	未接続	9	未接続
5	SG		

LAN (ネットワーク接続端子)

有線 LAN 端子を接続します。

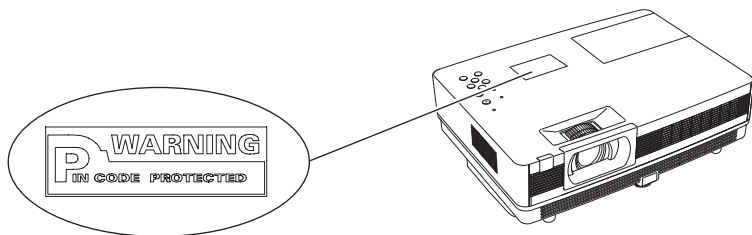
LAN コネクター



1	TX +	5	未接続
2	TX -	6	RX -
3	RX +	7	未接続
4	未接続	8	未接続

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録して暗証番号を有効にしているとき、暗証番号が登録されていることが一目でわかるように付属のシールを本体の目立つところに貼り付けます。



PJ Link について

このプロジェクターは JBMA (Japan Business Machine and Information System Industries Association : 社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会) の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class1 によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を検証しています。

プロジェクターの入力名		PJ Link	
		入力名	パラメータ
COMPUTER 1	ANALOG PC	RGB 2	12
	COMPONENT	RGB 3	13
	S-VIDEO	RGB 4	14
	SCART	RGB 5	15
COMPUTER 2	ANALOG PC	RGB 1	11
VIDEO	VIDEO	VIDEO 2	22

PJLink について

2003年9月、データプロジェクタ部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第1期の活動において、プロジェクターの新たなインターフェース仕様として PJLink が規定されました。

PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。

メーカーを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラからの操作を実現します。

今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMA による推進で実現し、ユーザの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1 : プロジェクタの基本機能の制御・監視仕様を標準化

基本的なプロジェクタ制御 : 電源制御、入力切り換えなど

プロジェクタの各種情報・状態を取得 : 電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMA : 社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会。

1960年に発足した日本事務機械工業会が、2002年4月1日より改称した団体です。

PJLink™

PJLink は JBMA の登録商標です。

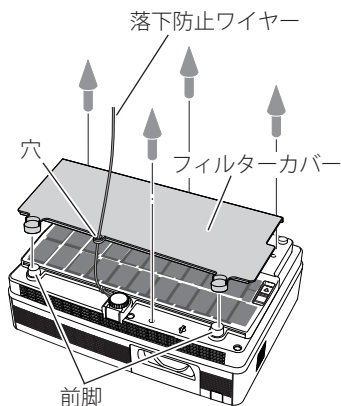
PJLink サイト URL

<http://pjlink.jbmia.or.jp>

フィルターカバーを取り付けます

付属のフィルターカバーは、天井にプロジェクターを取り付けるとき、フィルターの上にはこりが蓄積するのを防ぐように設計されています。

- 1 プロジェクターを裏返します。
- 2 図のようにフィルターカバーをフィルターの上に置いてください。
- 3 天吊金具用ベース金具に付属の説明書に従って、天吊金具用ベース金具にプロジェクターを取り付けてください。



- ※フィルターカバーの穴を通して、落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。
- ※LV-CL17を使用して天吊りする場合、フィルターカバーは必要ありません。

保証とアフターサービス

■ この商品には保証書がついています

保証書は、同梱されています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

なお、保証内容については、保証書に記載しております。

■ 修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、下のキャノンお客様センターにご相談ください。(ランプはキャノンホームページからもご購入いただけます。)

■ 補修用性能部品について

この保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

■ 修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■ 修理を依頼される際にご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番、機番
- 故障の内容 (できるだけ詳しく)

【修理方法】

本商品は、引取修理させていただきます。

お客様先に商品を引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取修理サービスおよび代替機の貸し出しは、キャノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。

また、代替機については、在庫状況によりご希望にそえない場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

愛情点検

● 長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。



このような症状はありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客さまメモ

品番	LV-7290 / 7295 / 7390 / 8225
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター（全国共通番号）

050 - 555 - 90071

【受付時間】 〈平日〉 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9348 をご利用ください。
※上記番号は IP 電話プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめ御了承ください。